

Clinical Indicator 2022

クリニカルインディケーター2022



医療法人 溪仁会

札幌溪仁会リハビリテーション病院

目 次

Ⅰ入院

I リハビリ実施退院数・単価

① 患者1人1日あたりのリハビリ単位数・年別	1
② 疾患別リハビリ単位数・年次経過（脳血管・運動器・廃用）	1
③ スタッフ配置数	1

II 退院患者

① 疾患別患者数	2
② 年齢・性別構成	2
③ 発症から入院までの期間	2
④ 在院日数	3
⑤ 疾患別平均在院日数	3
⑥ 患者住所	4
⑦ 最終退院先	4
⑧ 他医療機関への治療目的での転院理由	4
⑨ リハビリテーション実績指数	5
⑩ 疾患別患者数（年齢構成）	5
⑪ 疾患別患者数（男女別）	6

III 栄養状態の改善

① 各栄養状態の割合の変化	6
---------------	---

IV リハビリ日による改善

① ADLの改善	7
② 食事	7
③ 整容	7
④ 更衣上	8
⑤ 更衣下	8
⑥ ベッド移乗	8
⑦ トイレ移乗	9
⑧ トイレ動作	9
⑨ 排尿コントロール	9
⑩ 排便コントロール	10
⑪ 清拭	10
⑫ 浴槽移乗	10

⑬ 移動（歩行）	11
⑭ 階段	11
⑮ 言語理解	11
⑯ 言語表出	12
⑰ 社会的交流	12
⑱ 問題解決	12
⑲ 記憶	13

V 日常生活機能評価

① 新規入院患者 日常生活機能評価	13
② 退院患者 日常生活機能評価	14
③ 日常生活機能評価改善度	14
④ 認知症高齢者生活自立度	14

VI 院内事故・転倒

① 院内事故・転倒件数割合	15
② 院内事故発生率・転倒転落発生率	15

VII その他の調査

① 介護保険認定者のうち家屋改修の有無	15
② 福祉用具導入の有無	15
③ 利用サービスの割合	16
④ 退院患者の生活期リハ（法人内）への移行件数・療法の割合	16
⑤ 栄養指導件数（入院・外来）	16
⑥ 嗜好調査結果	17
⑦ 褥瘡の発生率	17
⑧ 下肢装具：種類別割合	17
⑨ 下肢装具：入院から処方日までの期間	18
⑩ 検査・ボツリヌス治療件数	18
⑪ リハビリ機器使用件数	18

② 外来

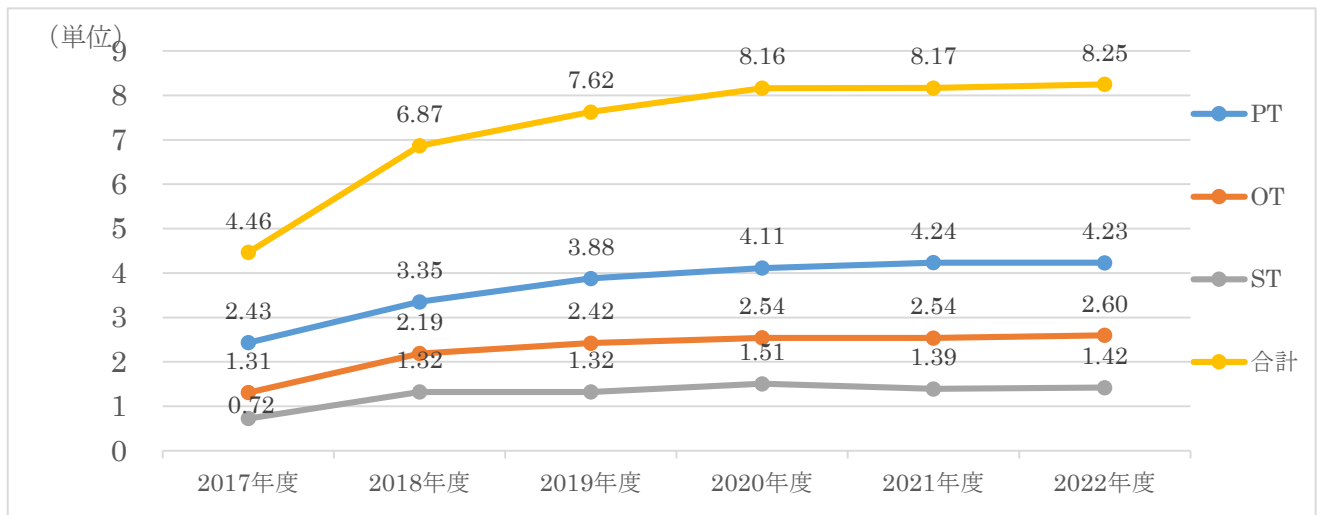
① 件数	19
② 年齢・性別	19
③ 居住地	19

1 入院

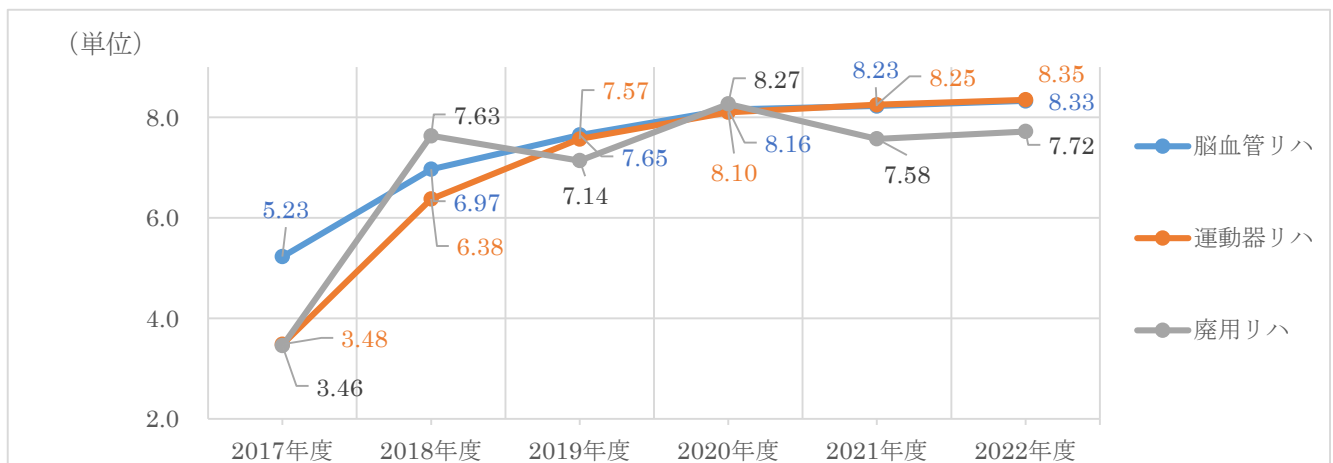
I リハビリ実施単位数・単価

①患者 1 人 1 日あたりのリハビリ単位数・年別

当院では、1 日平均 8.25 単位（1 単位＝20 分）の個別リハビリテーションを提供しています。



②疾患別リハビリ単位数・年別（脳血管・運動器・廃用）

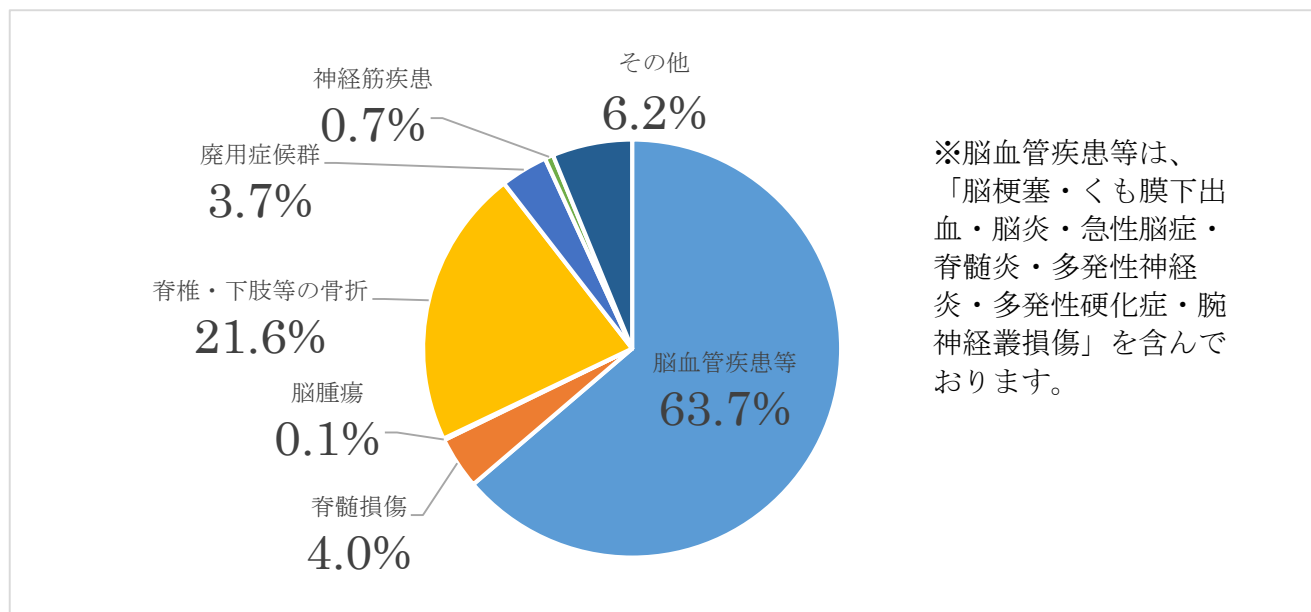


③スタッフ配置数（2022 年 4 月 1 日時点）

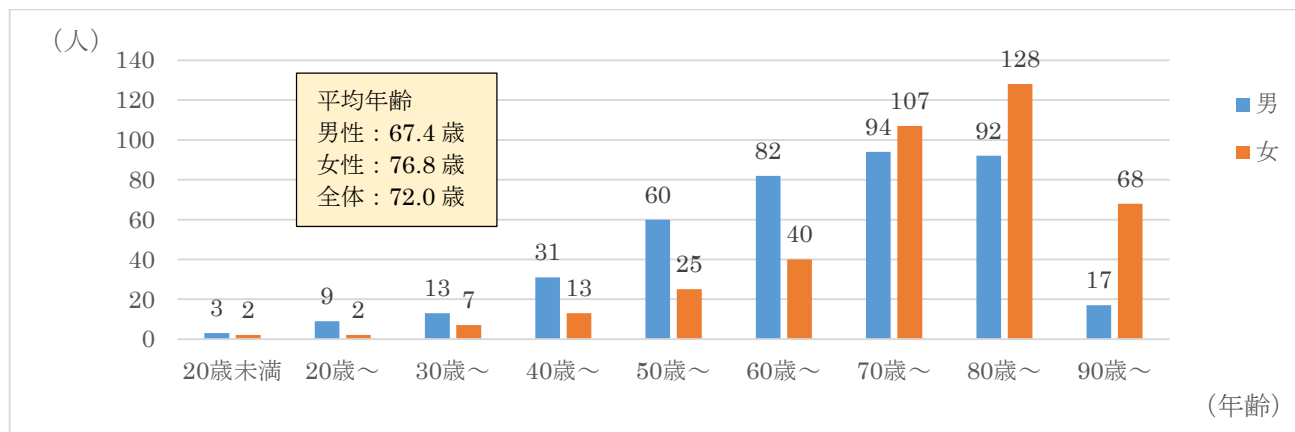
部署	病床数	医師	看護師	介護福祉士	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	臨床心理士	薬剤師	管理栄養士	臨床検査技師	放射線技師	歯科衛生士	社会福祉士	クラーク	事務職
5病棟	51	3	24	14	21	13	6								1	
4病棟	52	3	24	13	23	14	6								1	
3病棟	52	2	25	14	22	13	7								1	
外来/外来・通所リハ		4	4		5	2	1								2	
訪問看護/訪問リハ			7		7	9									2	1
1F・2F		1	8	4	7	3	3	1	4	5	2	3	1	9		24
合計	155	13	92	45	85	54	23	1	4	5	2	3	1	9	7	25

Ⅱ 退院患者

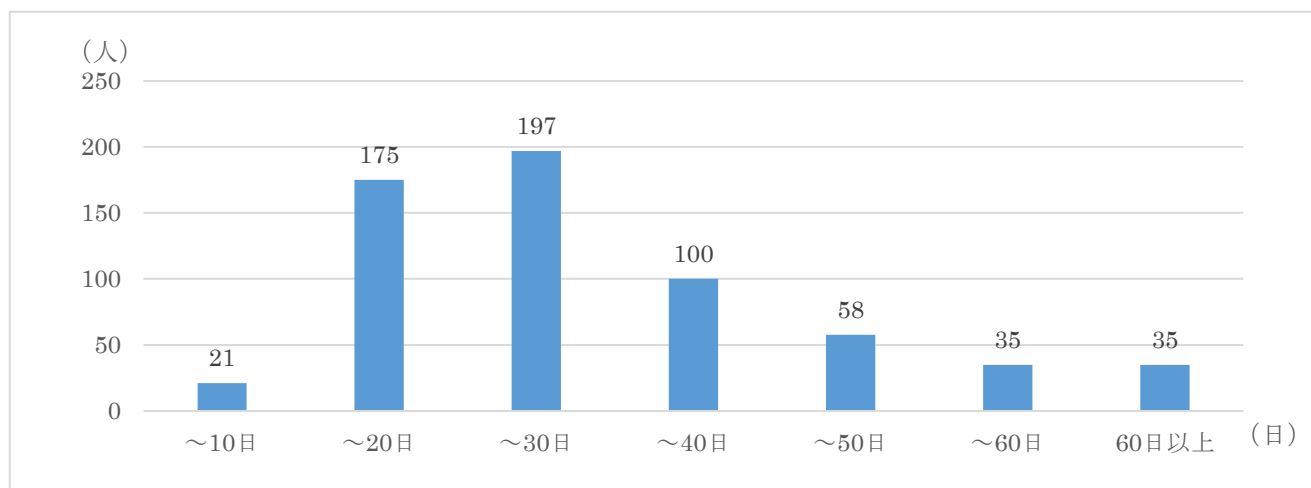
①疾患別患者数（n = 793）



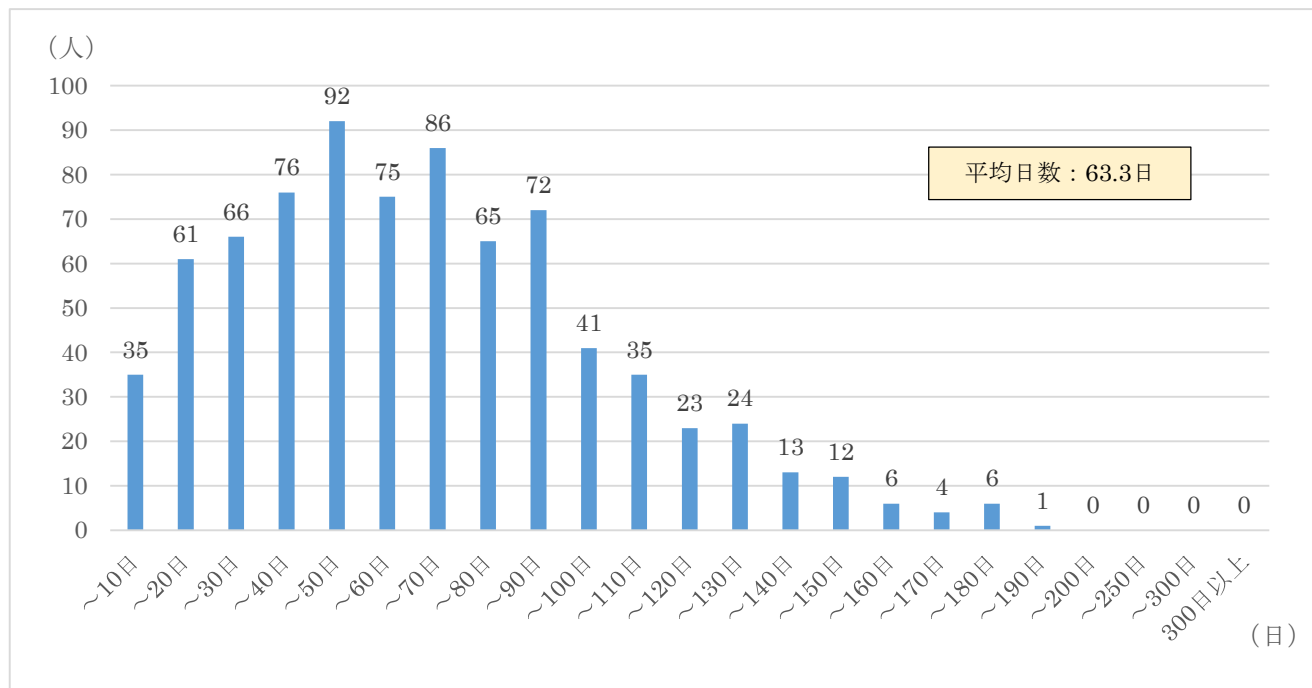
②年齢・性別構成（n = 793）



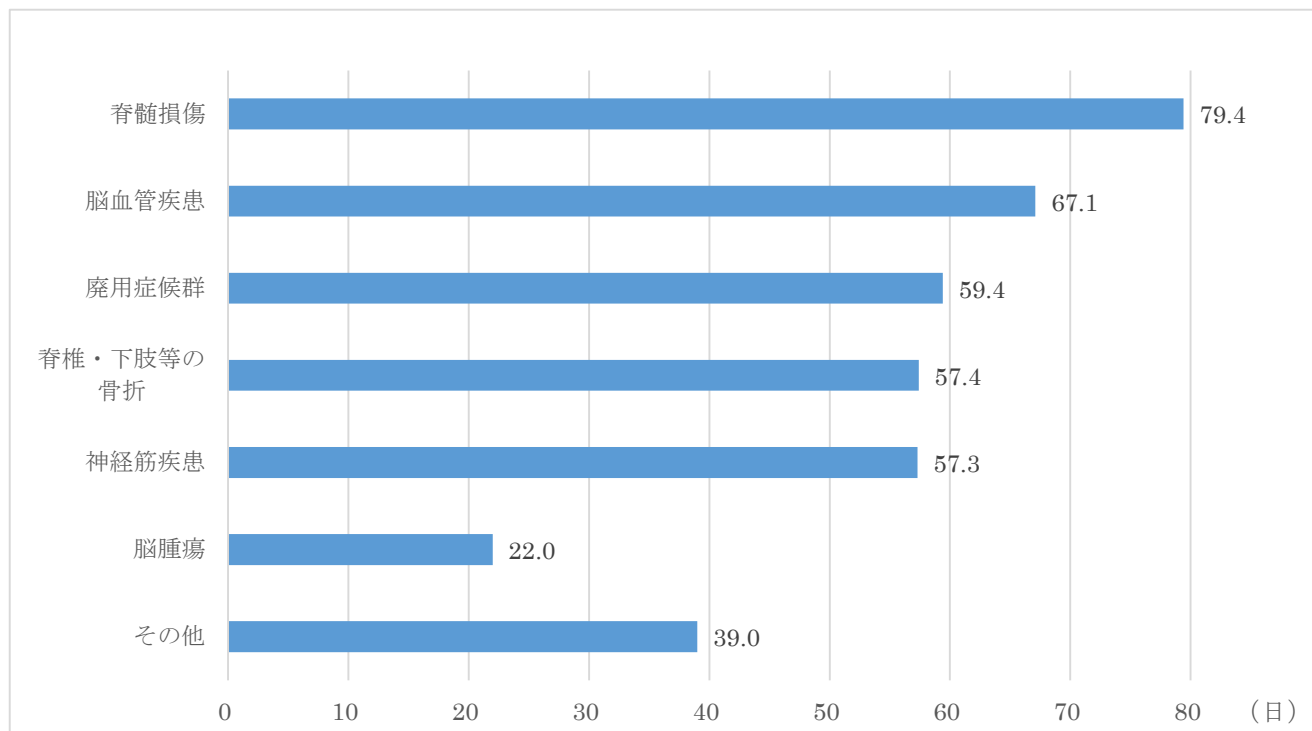
③発症から入院までの期間（n = 620）



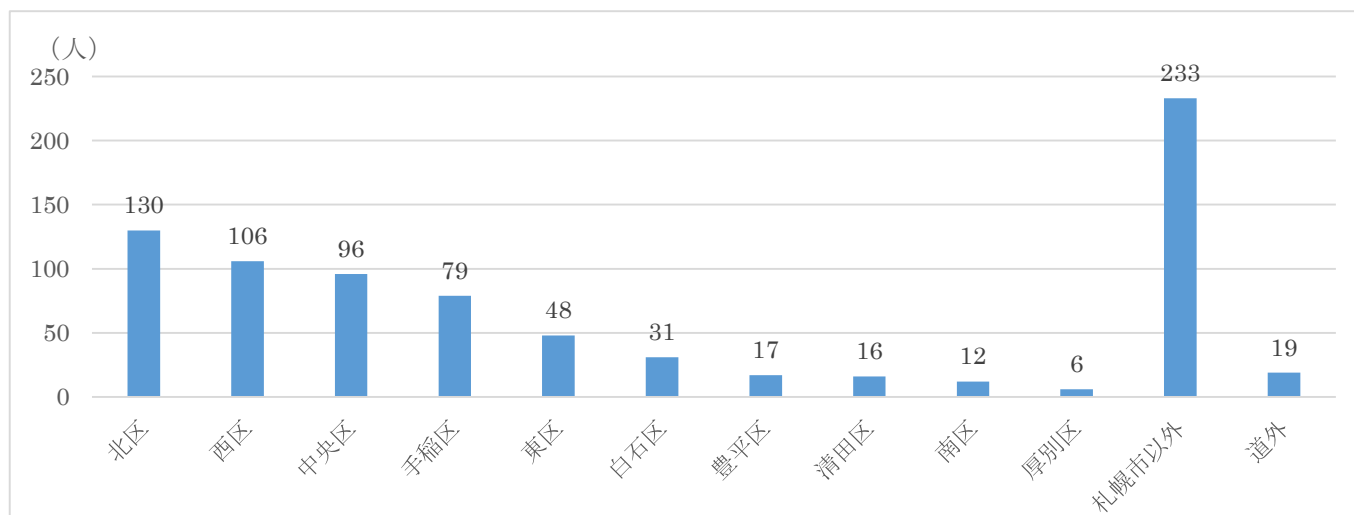
④在院日数 (n = 793)



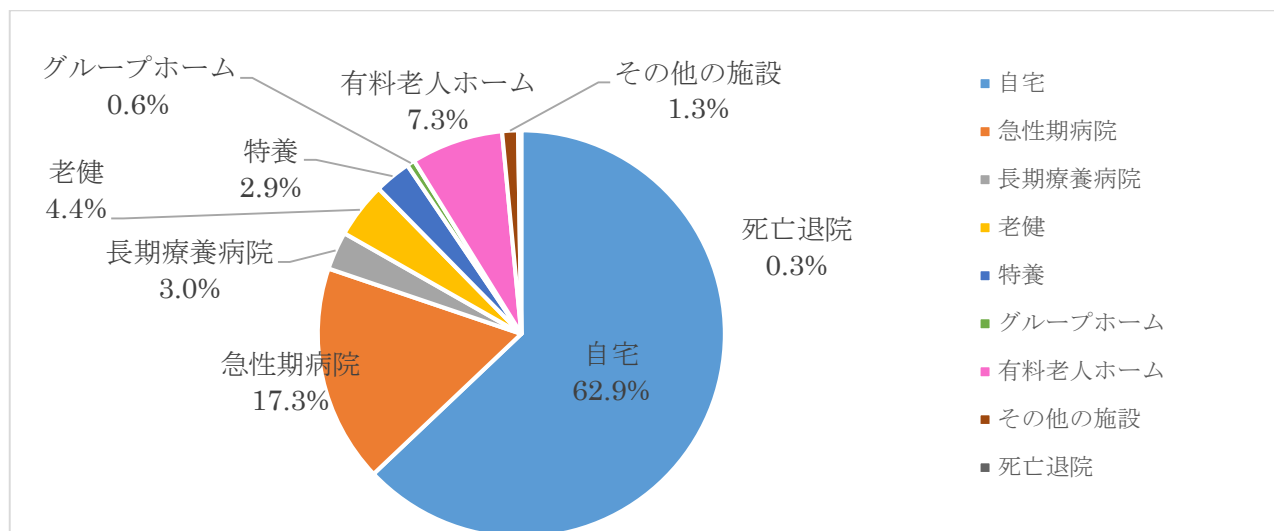
⑤疾患別平均在院日数 (n = 793)



⑥患者住所（n = 793）



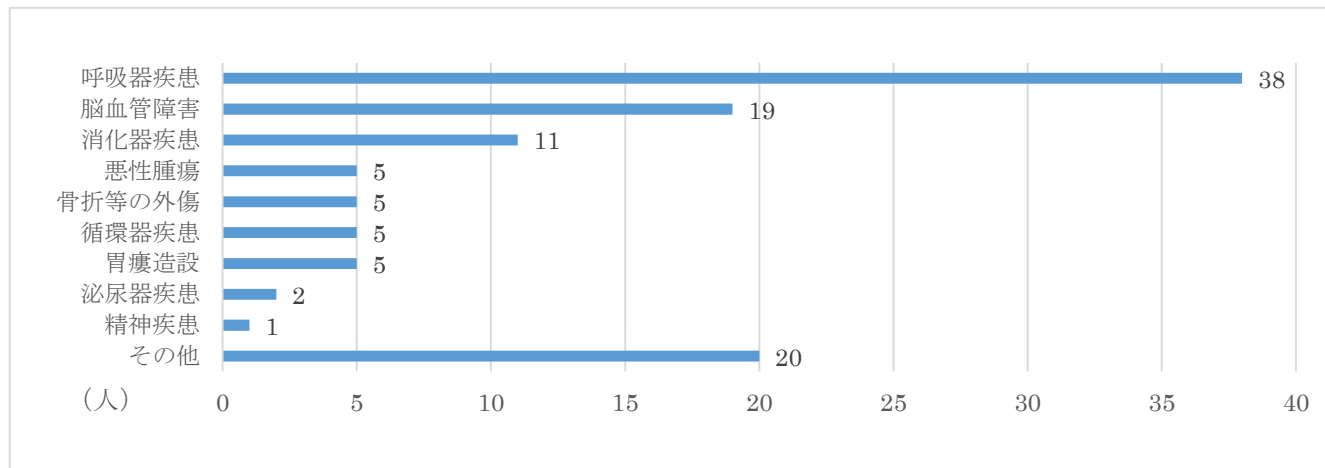
⑦最終退院先（n = 793）



⑧他医療機関への治療目的での転院理由（n = 111）

重篤な合併症の発症等によりリハビリテーションの継続が困難、あるいは専門的な精査治療が望まれる場合には、必要に応じて急性期病院（原則として紹介元病院）に転院し専門的な治療を受けていただきます。

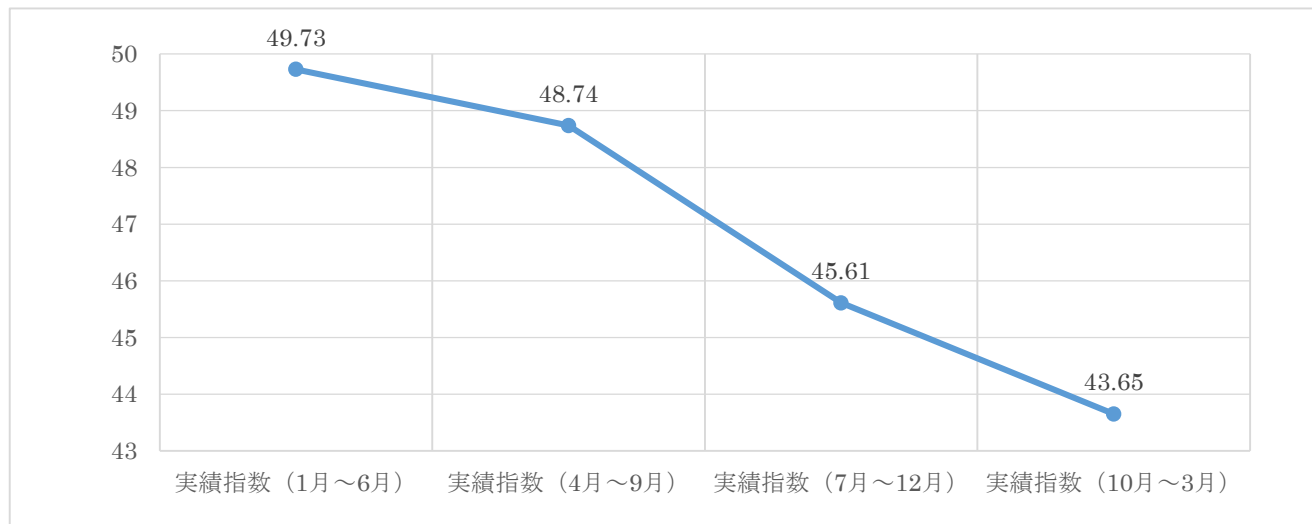
昨年は 111 件の方が急性期病院に転院されました。内訳は下記グラフとなります。治療が終了し、リハビリ再開が可能となりましたら当院に再入院いただけます。



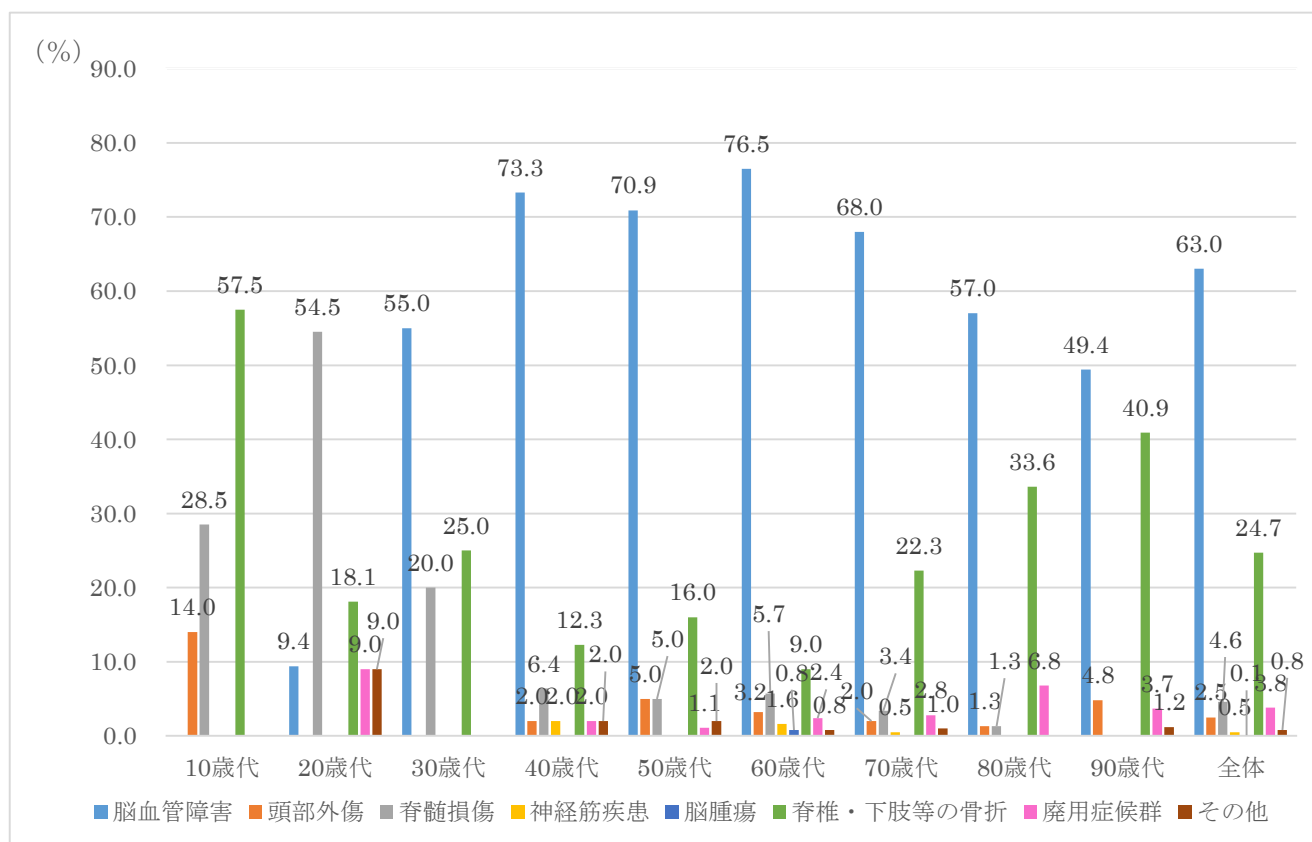
⑨リハビリテーション実績指数

リハビリテーション実績指数とは、入院時と退院時の FIM 評価得点の改善度と在院日数を踏まえて指数化したもので、当院が取得している「回復期リハビリテーション病棟入院料 1」では、実績指数が「40 以上」であることが要件となります。

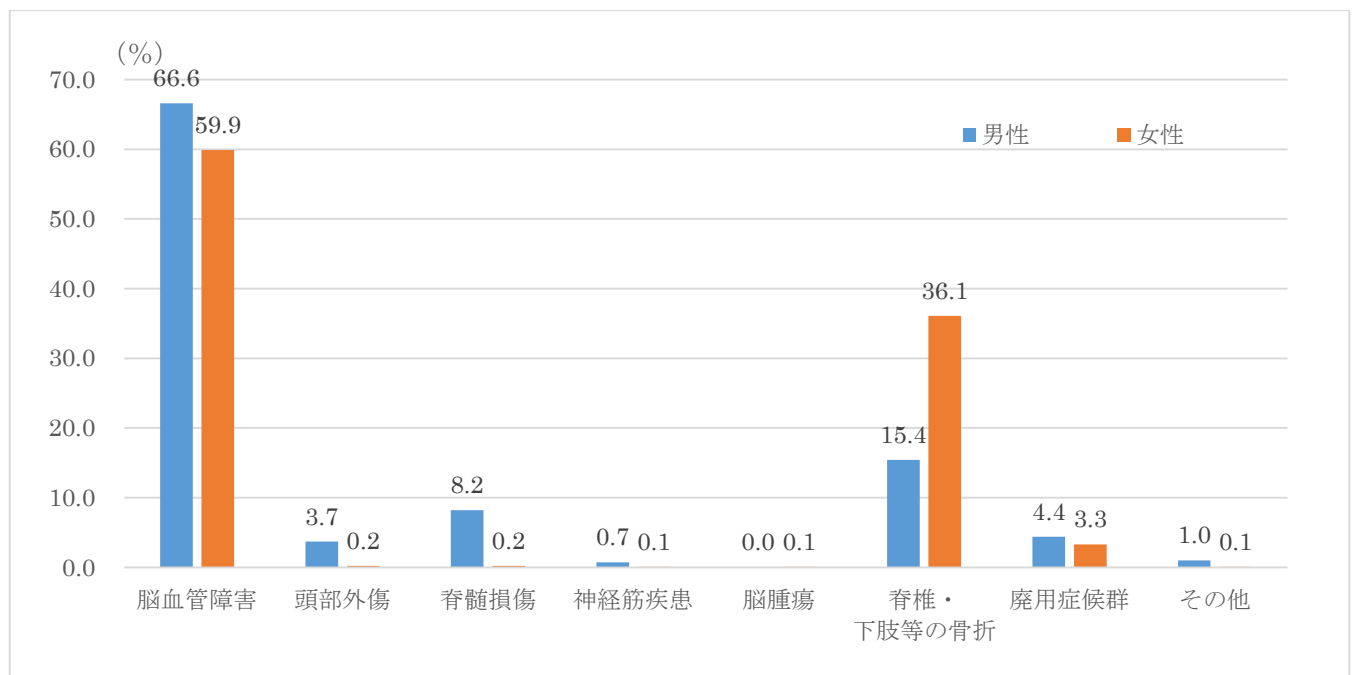
2022 年度診療報酬改定により重症な状態の患者の受入が増えたこと、疾患層の変化などが要因となり数値の低下がみられました。



⑩疾患別患者数 年齢構成 (n = 793)



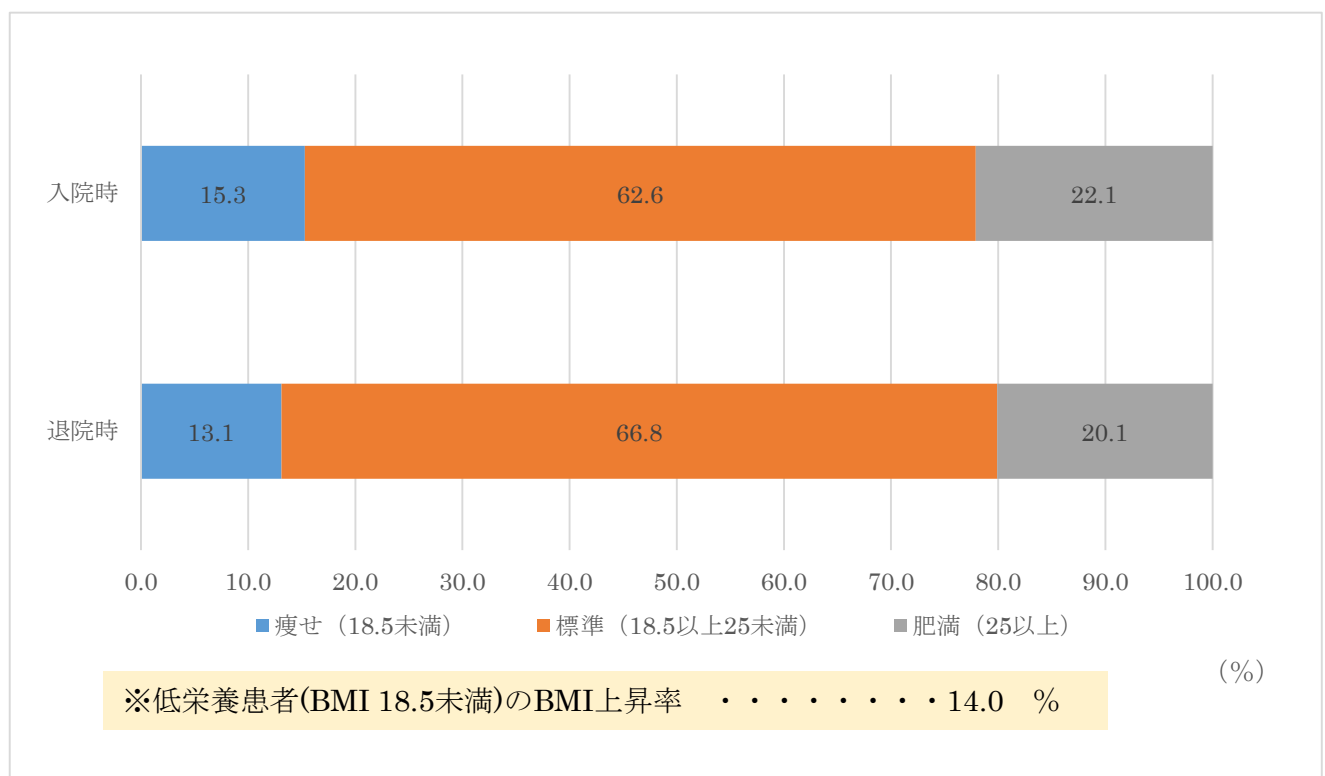
⑩疾患別患者数 男女別 (n = 793)



Ⅲ 栄養状態の改善

① 栄養状態の割合の変化 (n = 748)

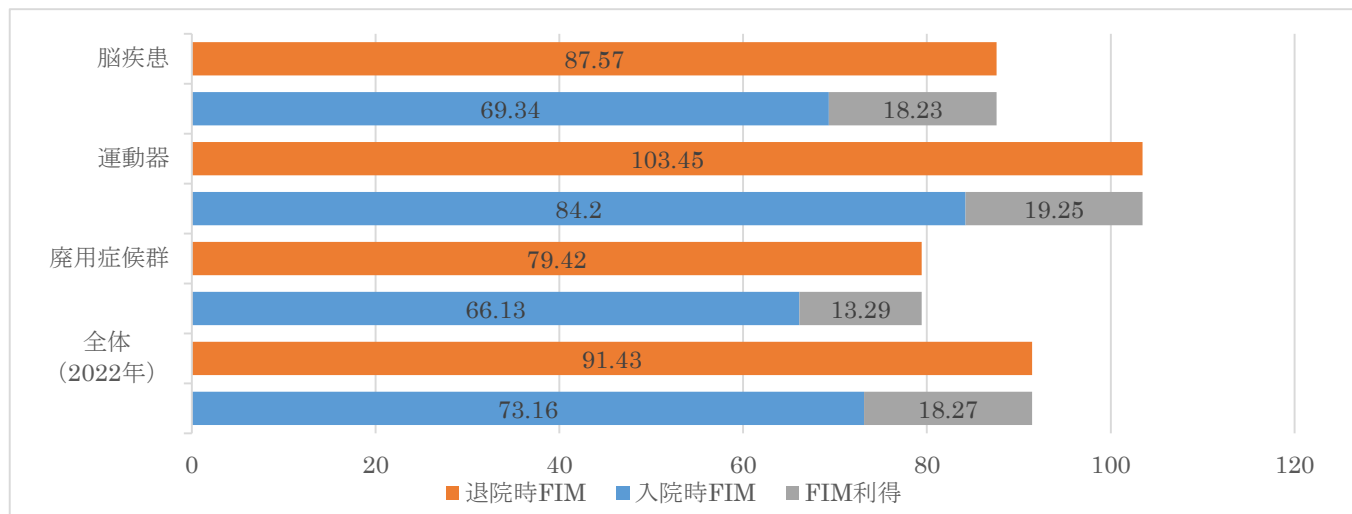
BMI(Body Mass Index: 体格指数)が 18.5 kg/m²未満の低栄養状態の方の割合は、入院時 15.3%から 13.1%へ減少しました。BMI が 25 kg/m²以上の肥満の方の割合は、入院時 22.1%から 20.1%に減少しました。



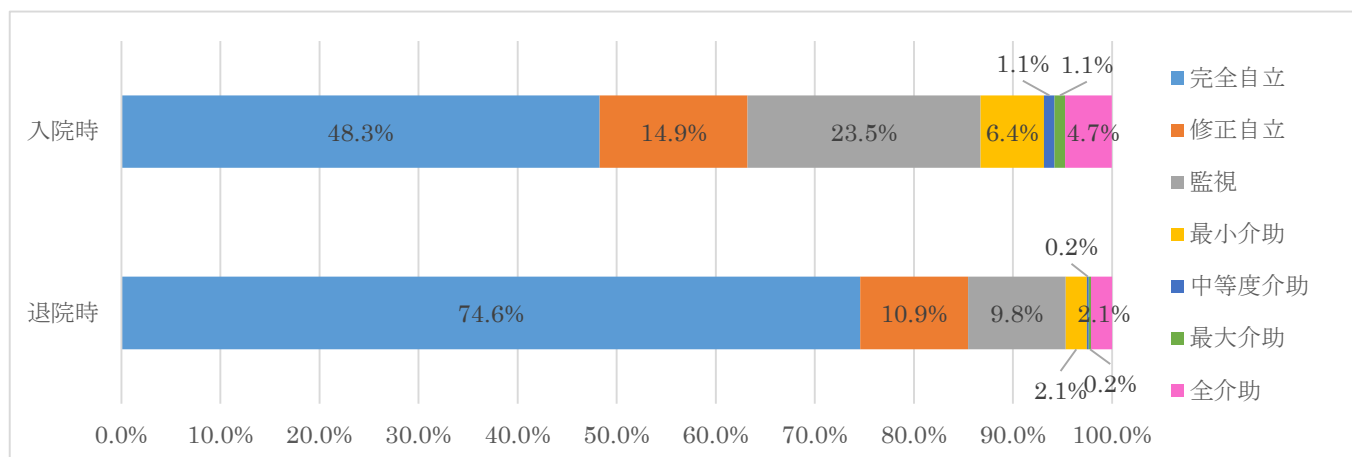
Ⅳ リハビリによる改善

①ADLの改善（n＝647）

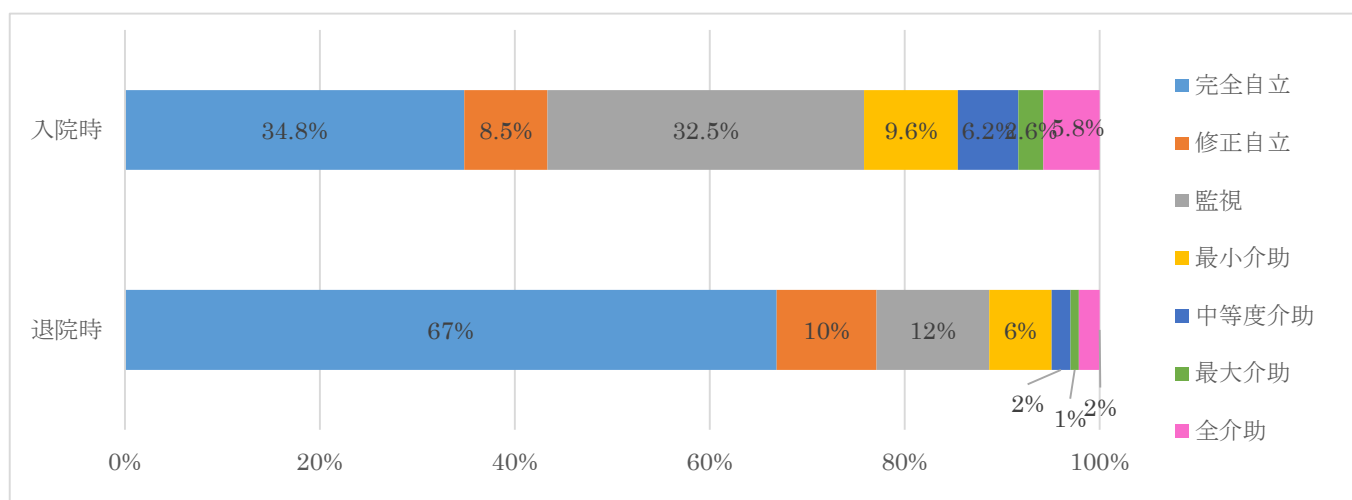
FIM 利得算出方法 ＝ 退院時 FIM－入院時 FIM



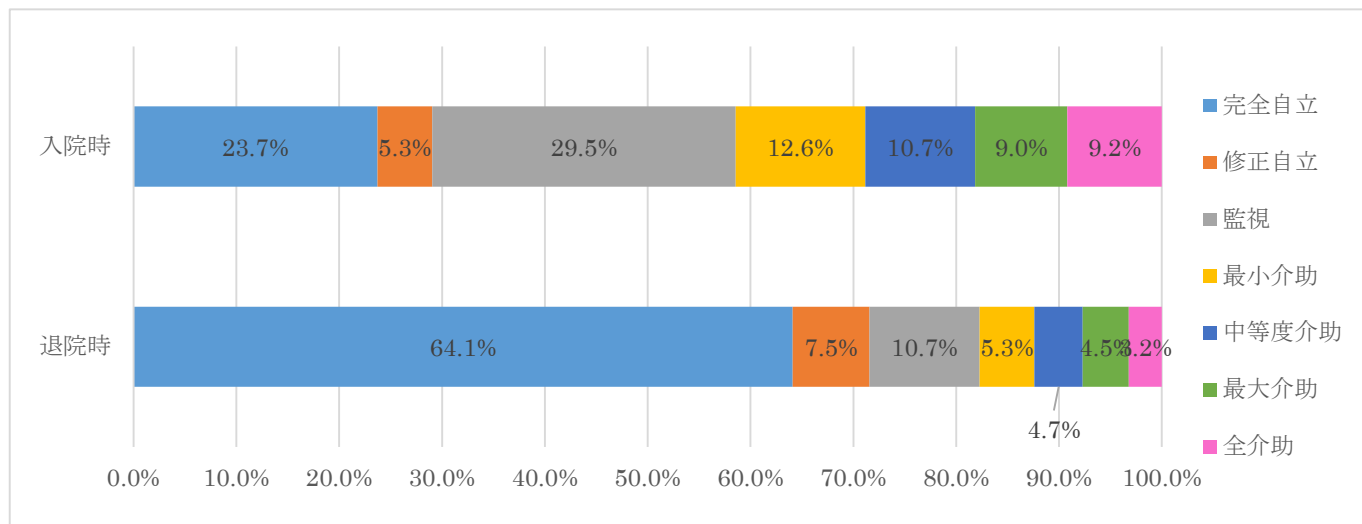
②食事（n＝468）



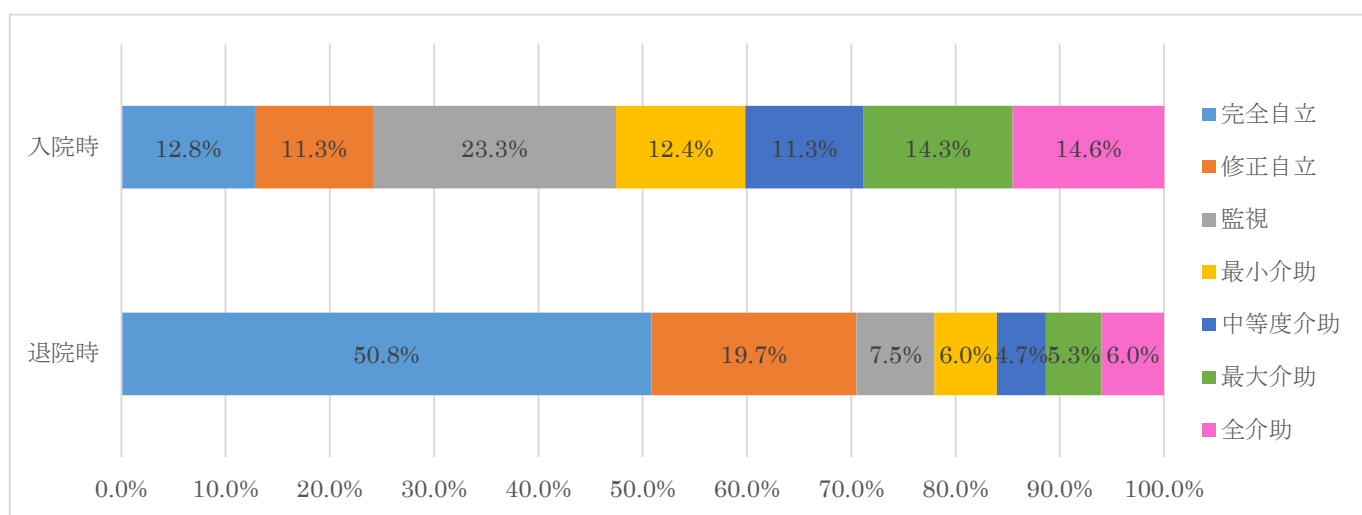
③整容（n＝468）



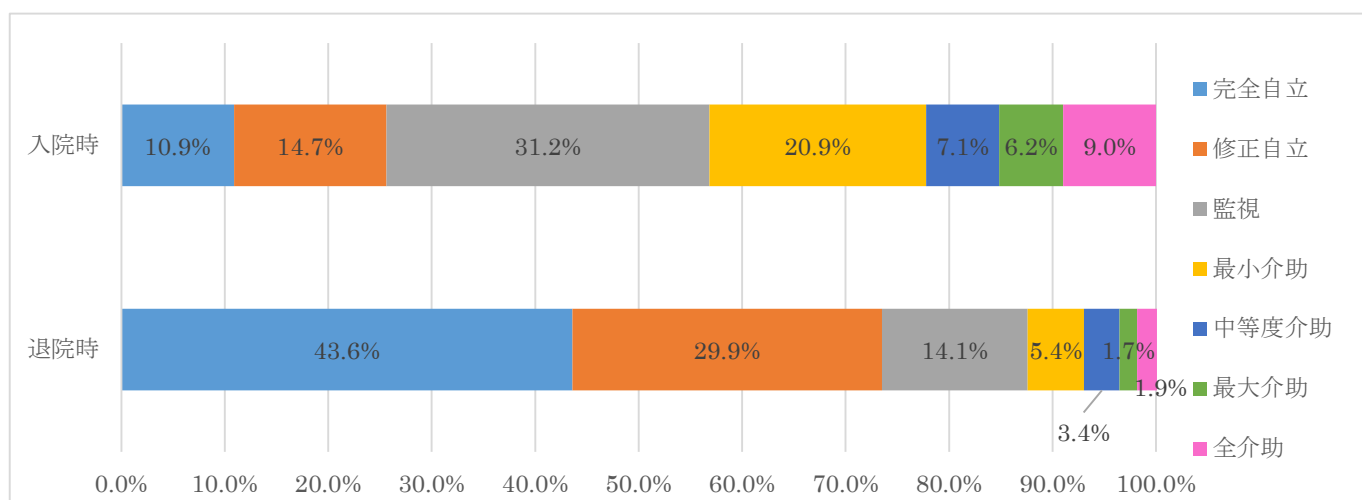
④更衣上 (n = 468)



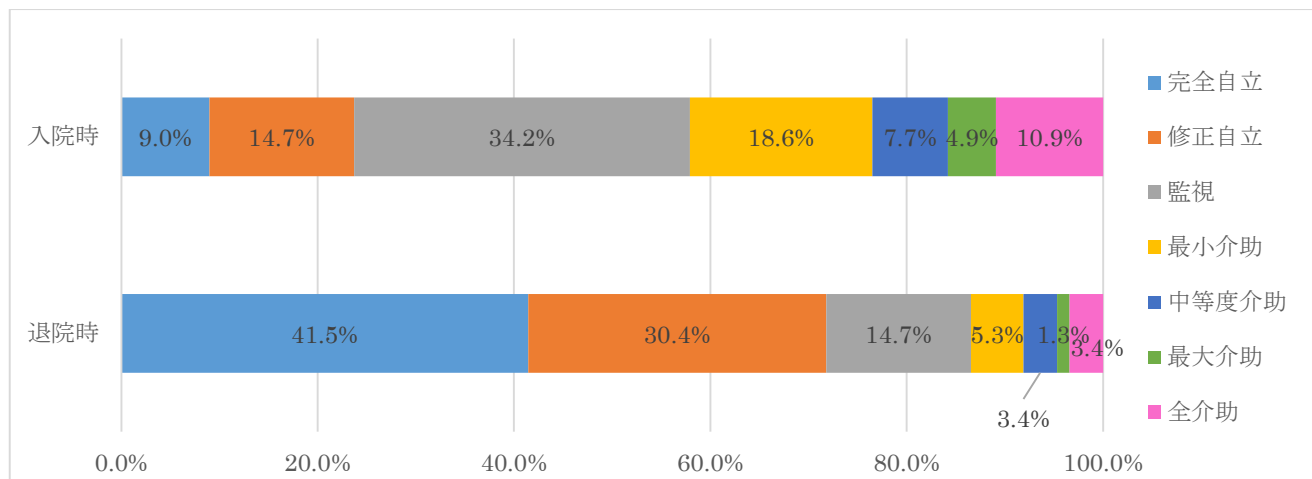
⑤更衣下 (n = 468)



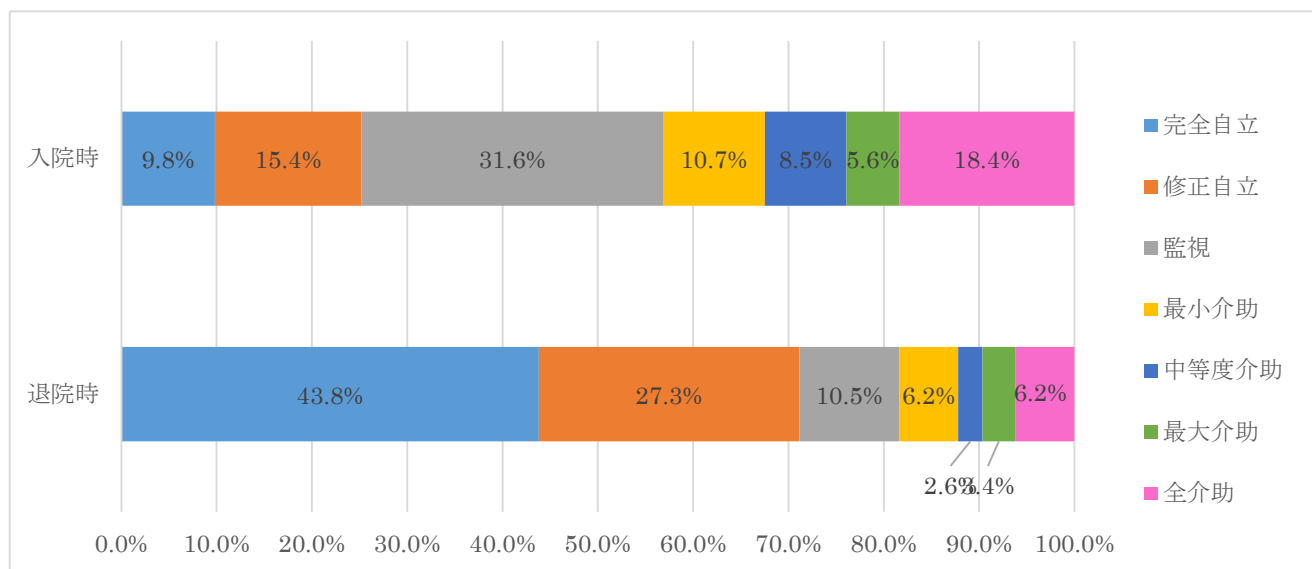
⑥ベッド移乗 (n = 468)



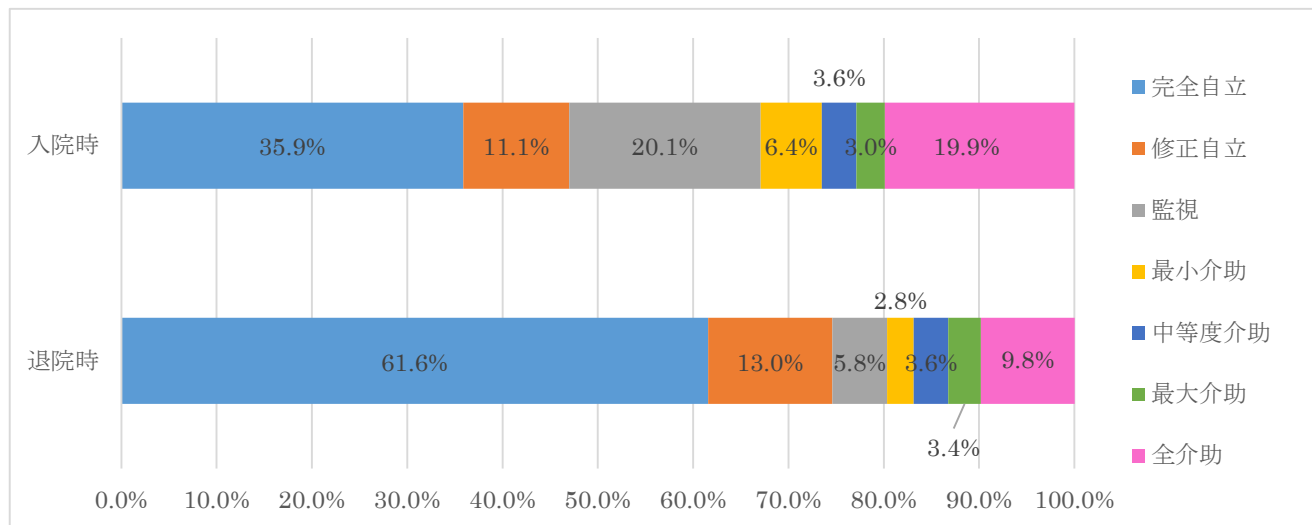
⑦トイレ移乗 (n = 468)



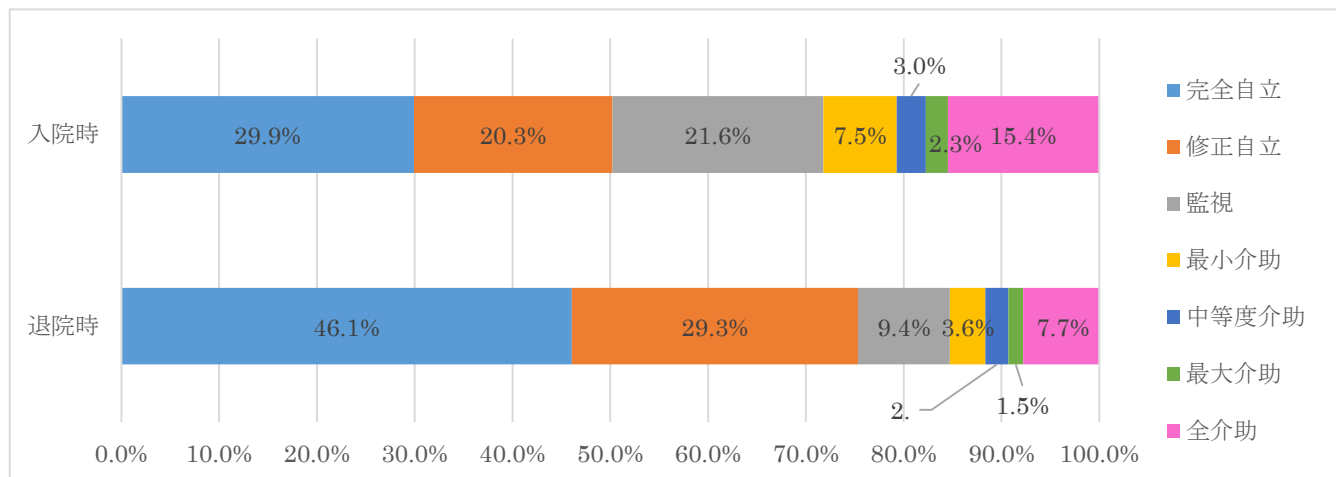
⑧トイレ動作 (n = 468)



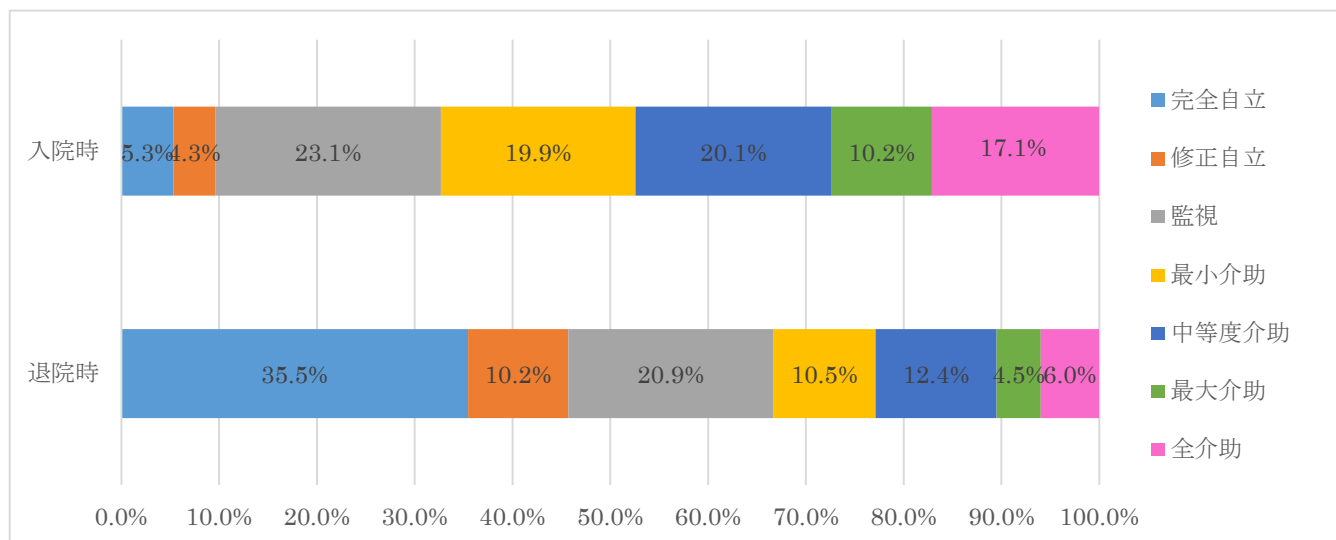
⑨排尿コントロール (n = 468)



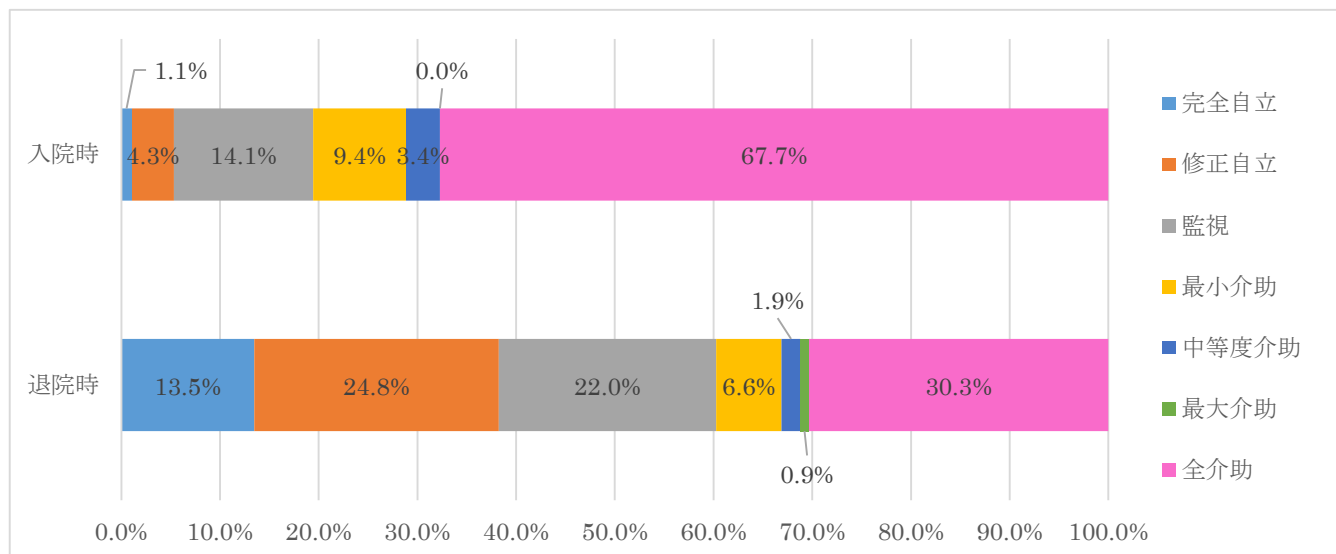
⑩排便コントロール (n = 468)



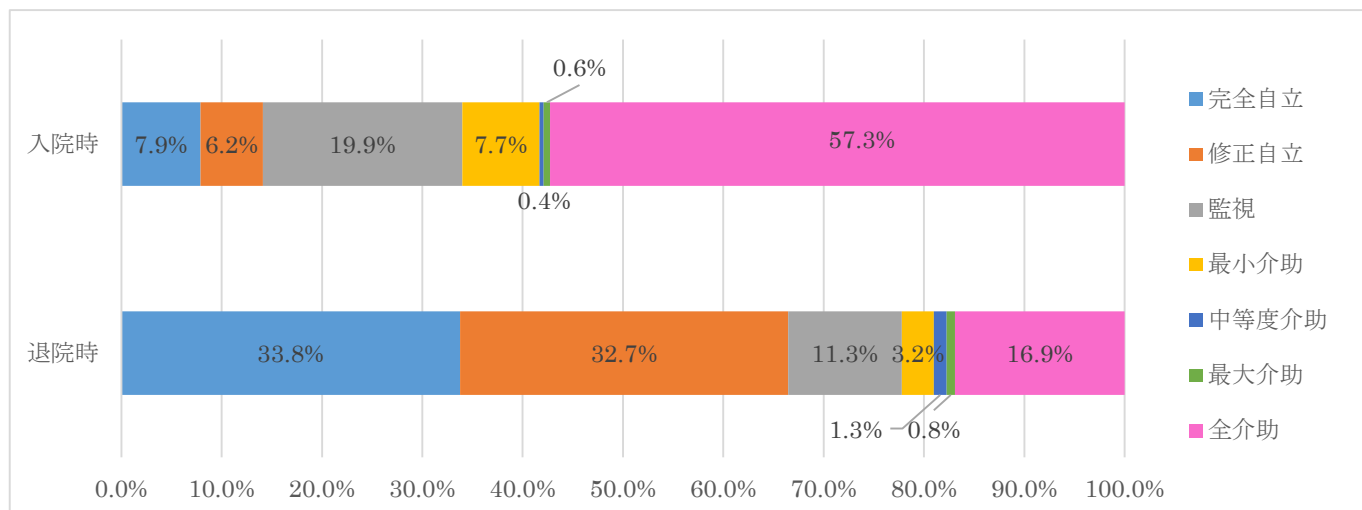
⑪清拭 (n = 468)



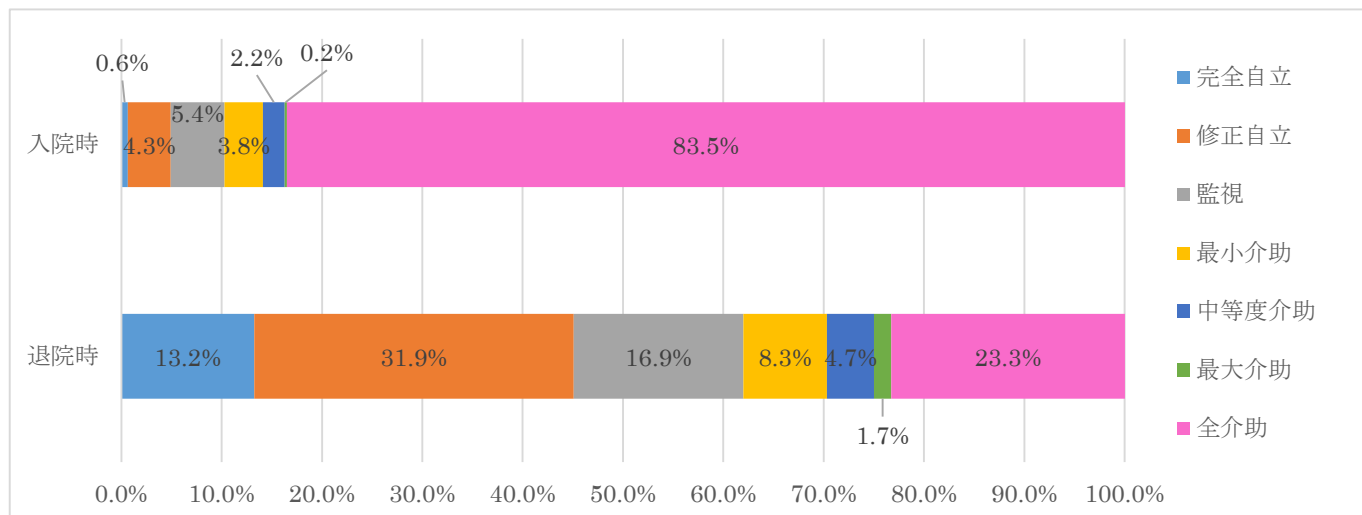
⑫浴槽移乗 (n = 468)



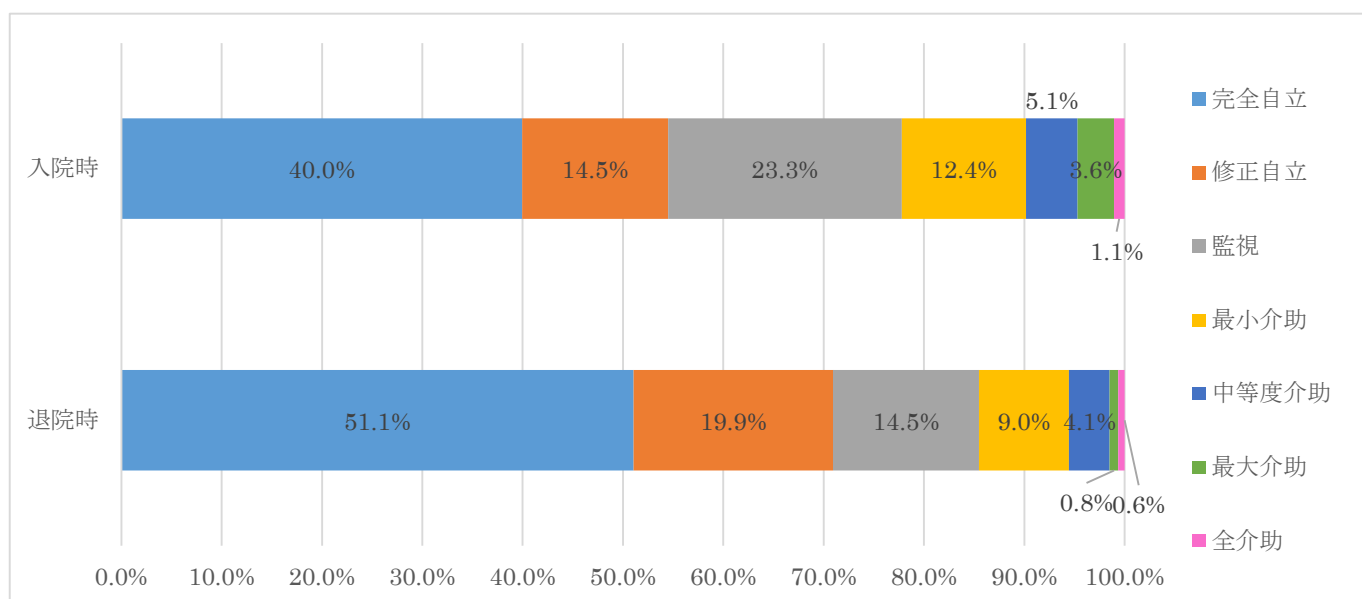
⑬移動（歩行）（n = 468）



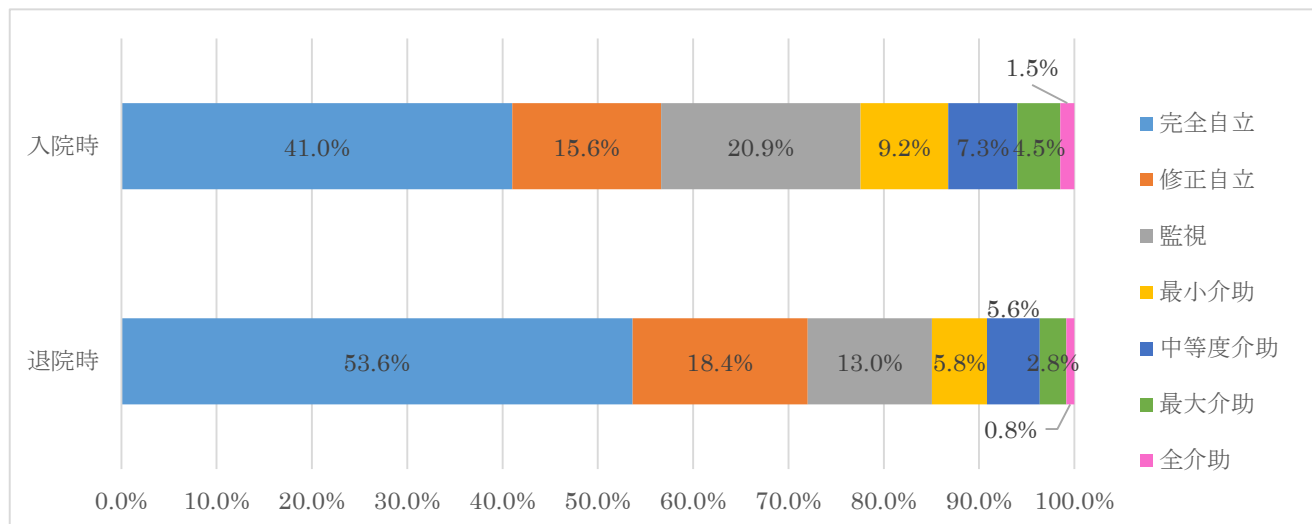
⑭階段（n = 468）



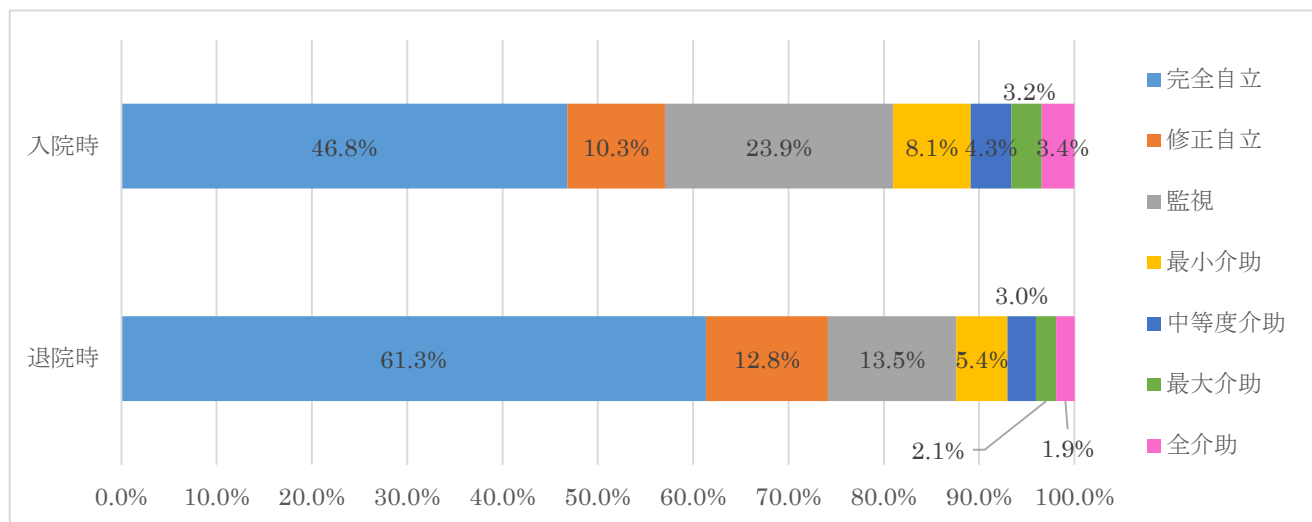
⑮言語理解（n = 468）



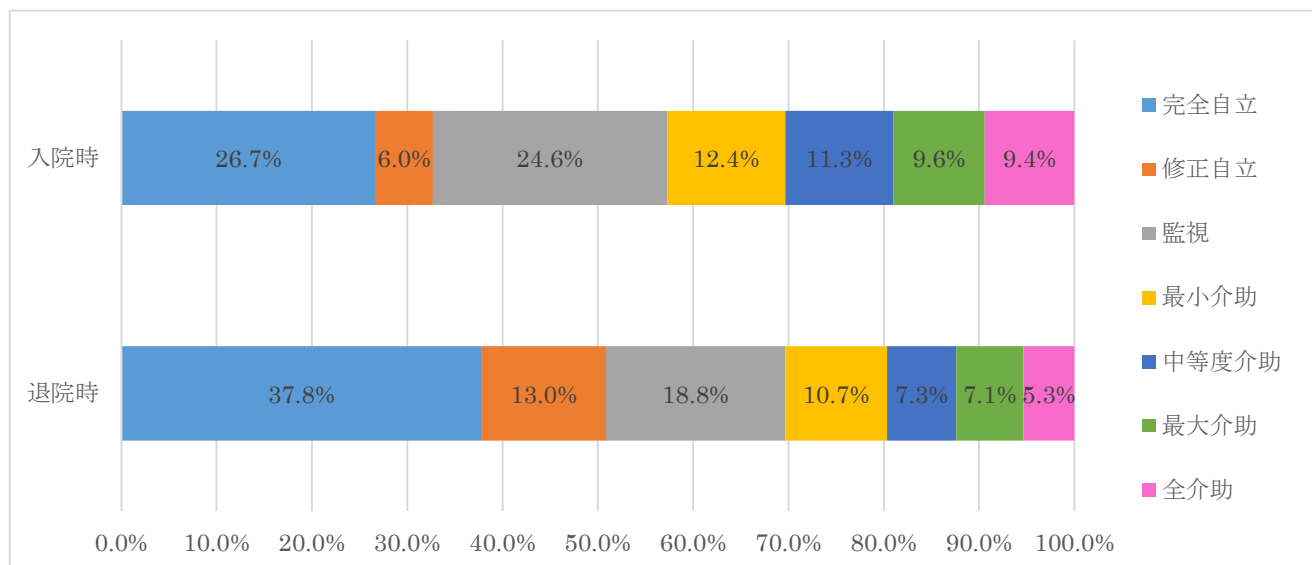
⑩言語表出 (n = 468)



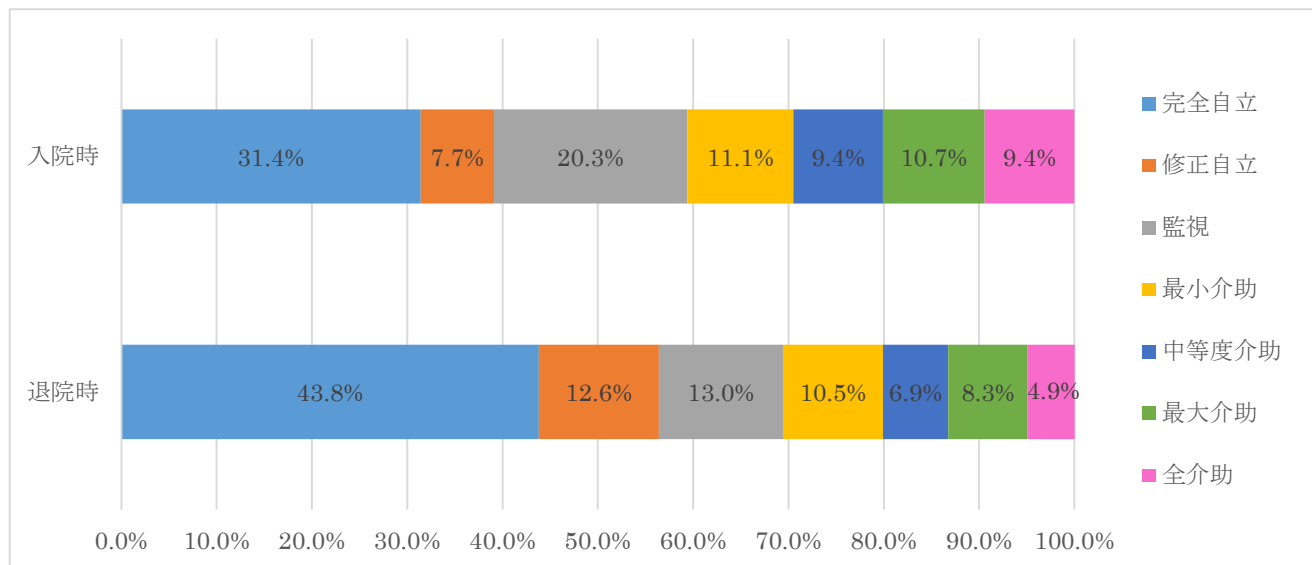
⑪社会的交流 (n = 468)



⑫問題解決 (n = 468)



⑭記憶（n = 468）

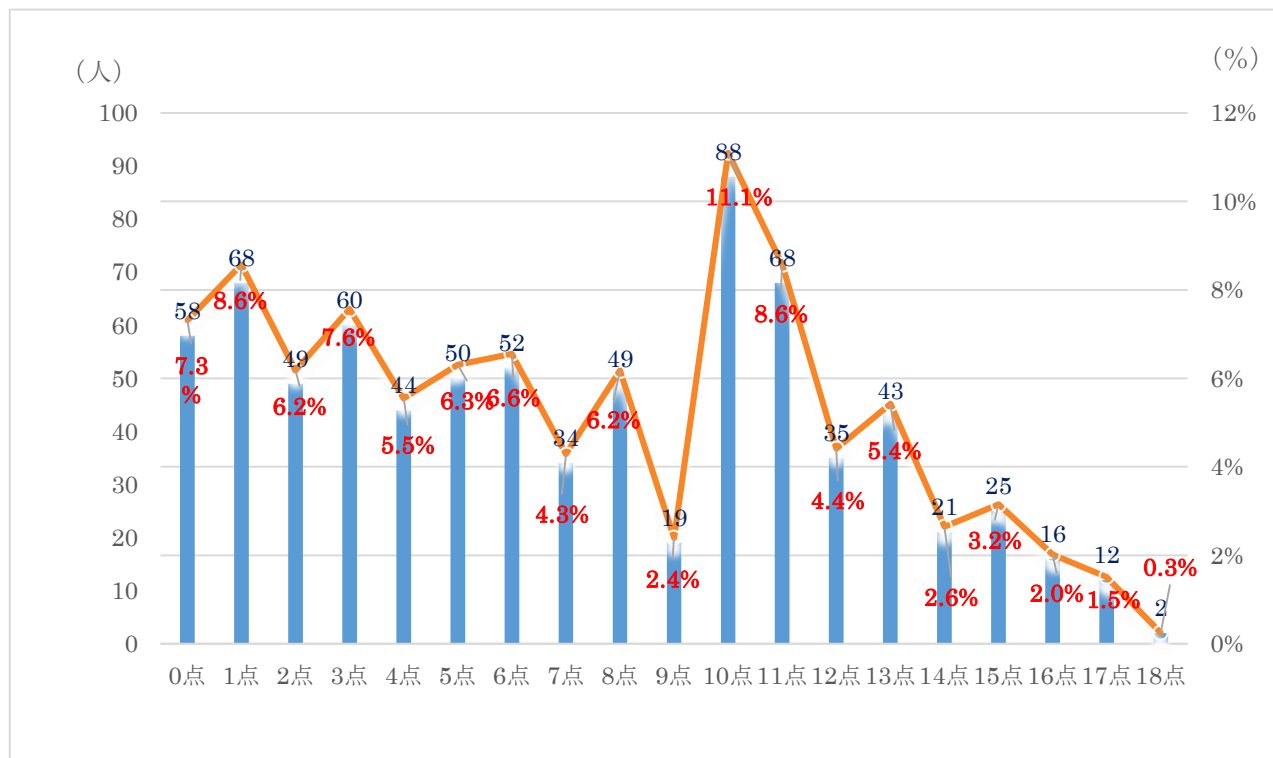


V 日常生活機能評価

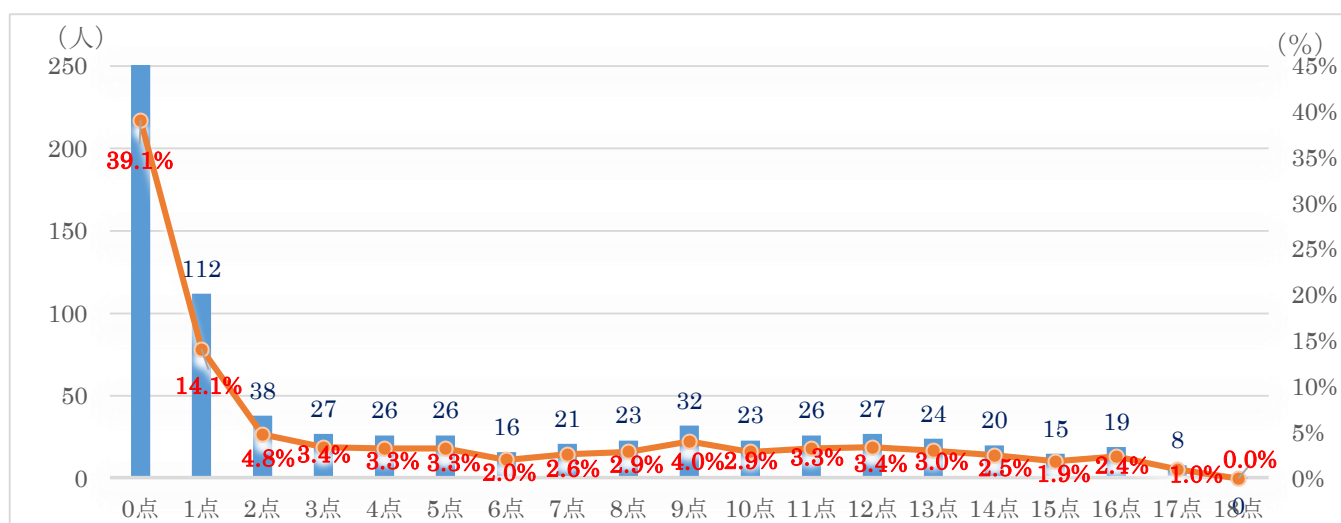
①新規入院患者 日常生活機能評価（入院時）（n = 793）

日常生活機能評価とは、全 13 項目：合計 0 点～19 点であり、合格点数が高い程、重症の患者さんである事を意味しています。

※同一者の同一疾患での再入院は 1 入院として扱っております。

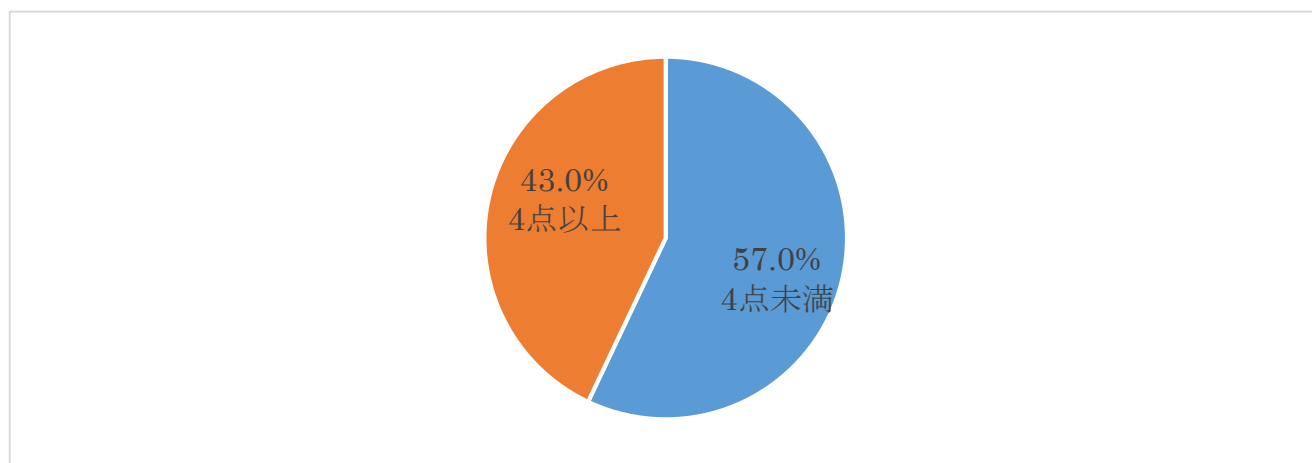


②退院患者 日常生活機能評価（退院時）（n = 793）

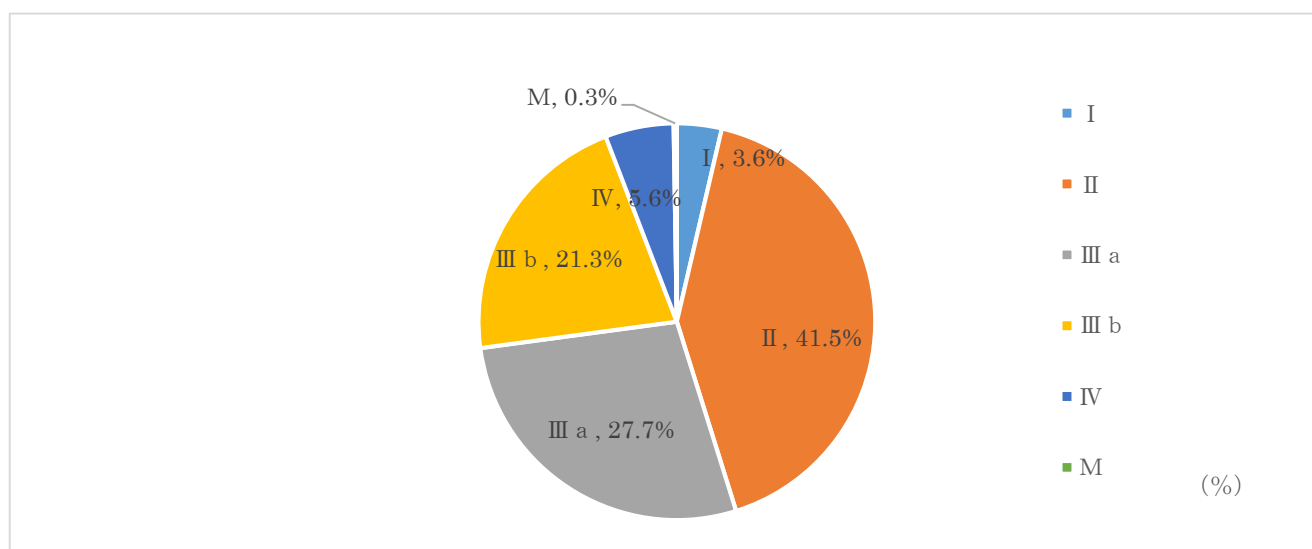


② 改善度（入院時 10 点以上対象のうち 4 点以上改善した患者の割合）（n = 149）

回復期リハビリテーション病棟入院料 1 の施設基準として、入院料の判定で 10 点以上であった患者さまのうち、4 割以上改善している事が要件となっています。

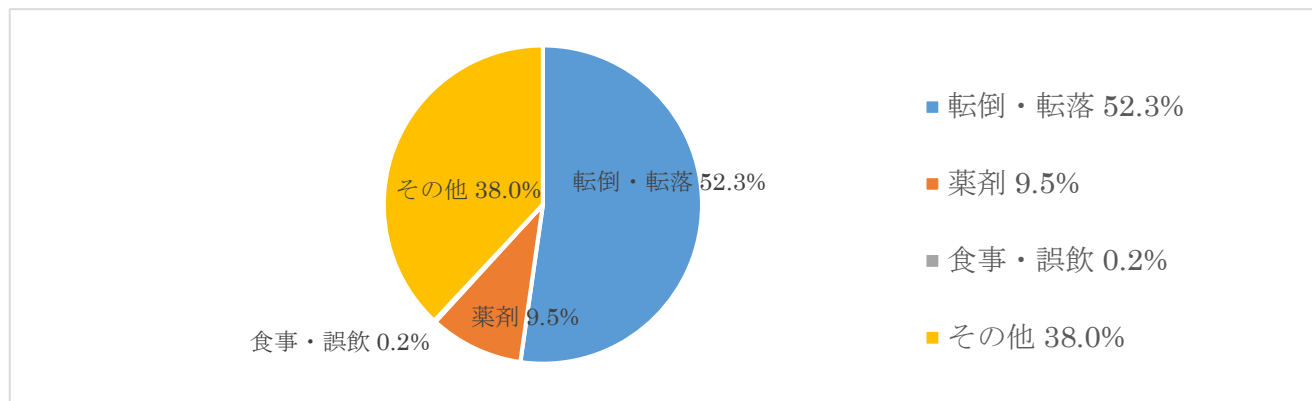


④認知症高齢者生活自立度



VI 院内事故・転倒

①院内事故・転倒件数割合（n = 618）

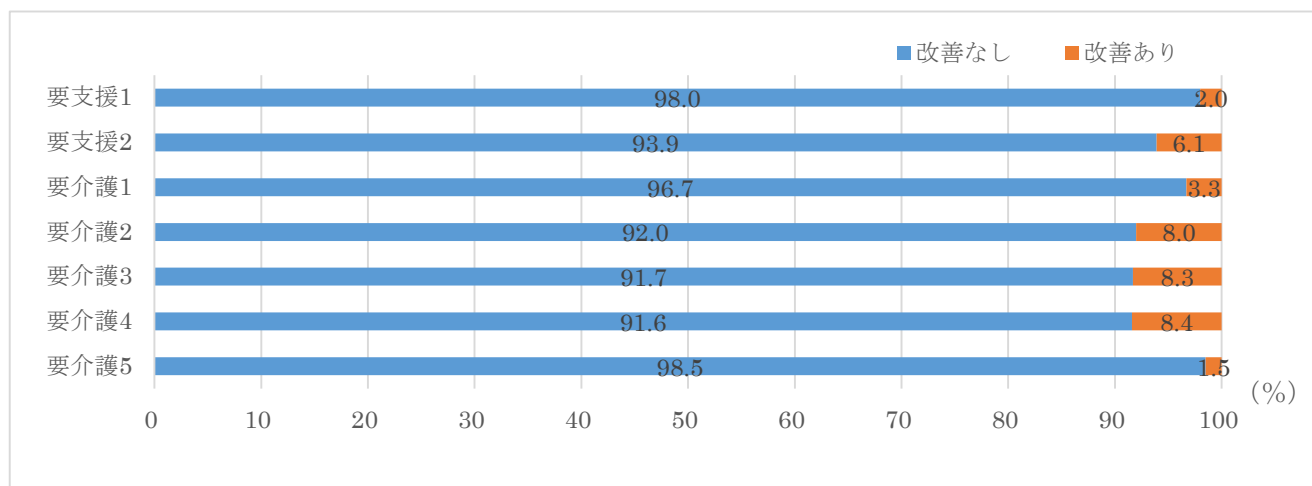


②院内事故発生率・転倒転落発生率

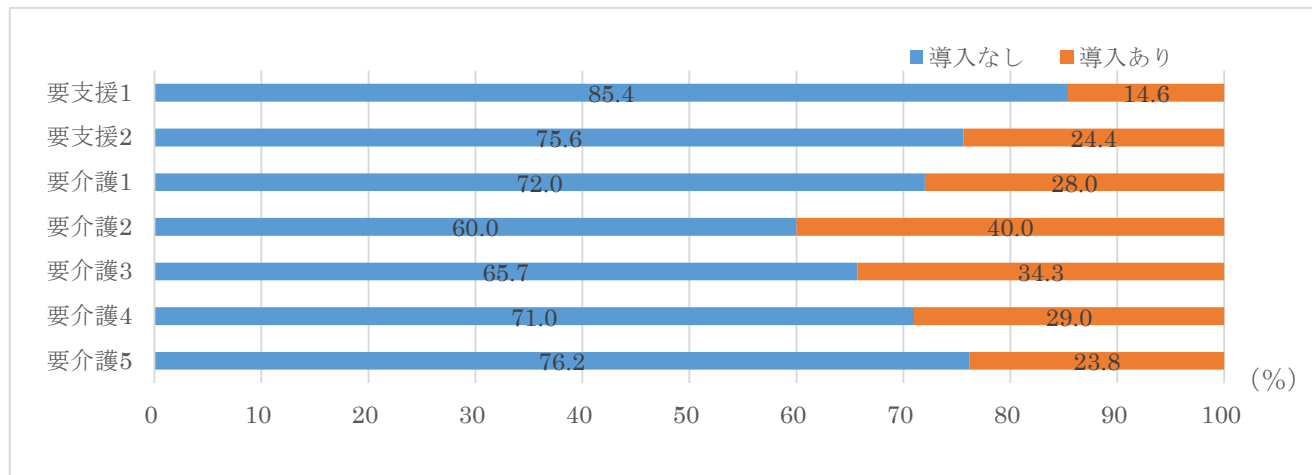
院内事故発生率（618 件）・・・1.1% 転倒発生率（229 件）・・・4.39‰ 転落発生率（104 件）・・・2.06‰

1 その他の調査

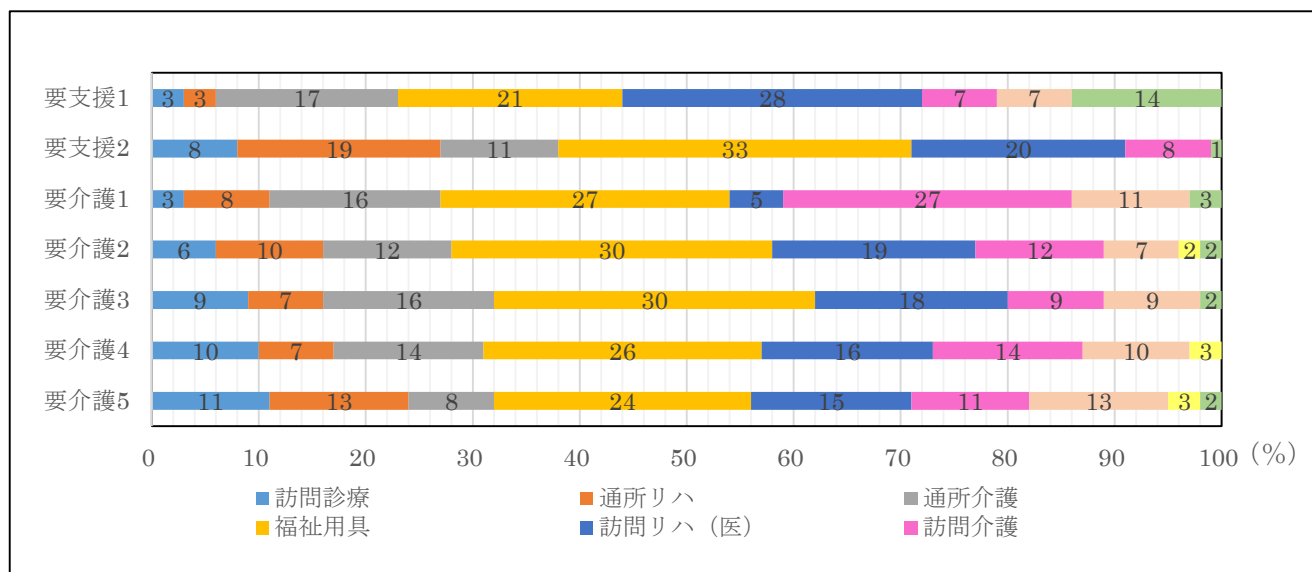
② 介護保険認定者のうち家屋改修の有無（介護度別の割合）（n = 515）



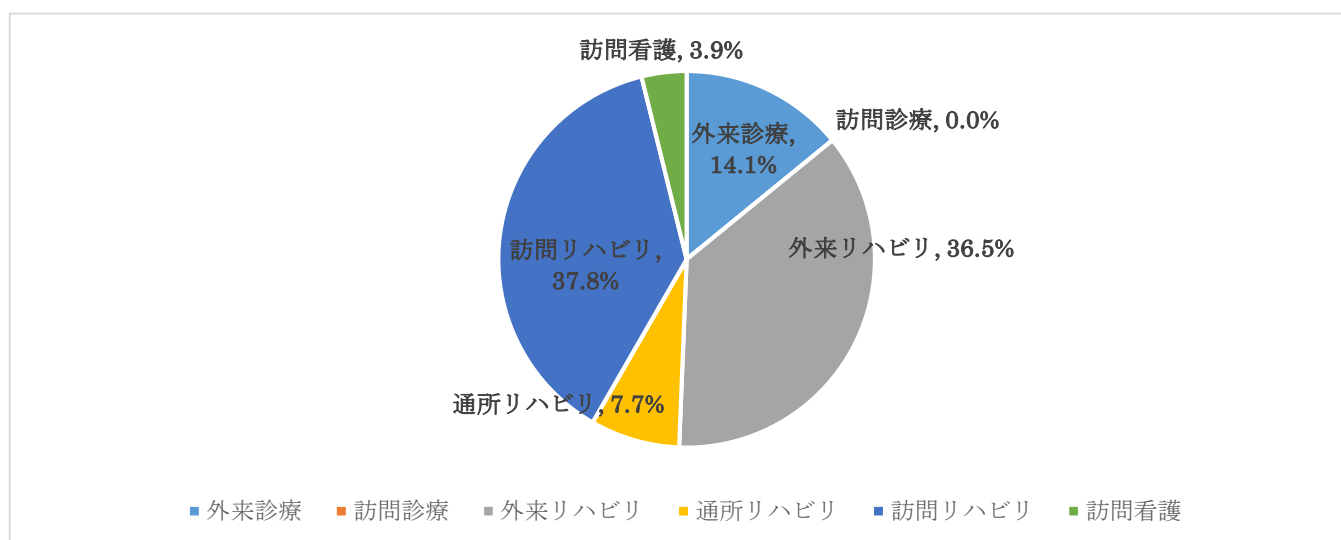
③ 福祉用具導入の有無（介護度別の割合）（n = 515）



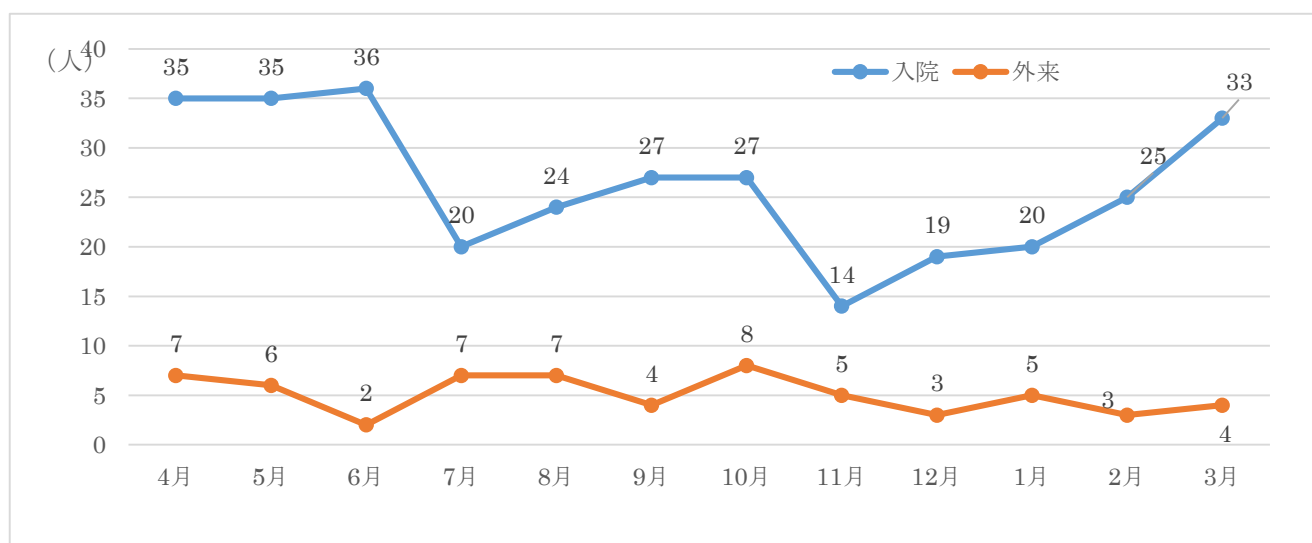
③利用サービスの割合（介護度別の割合）



④退院患者で生活期リハ（法人内）へ移行した割合（n = 156）

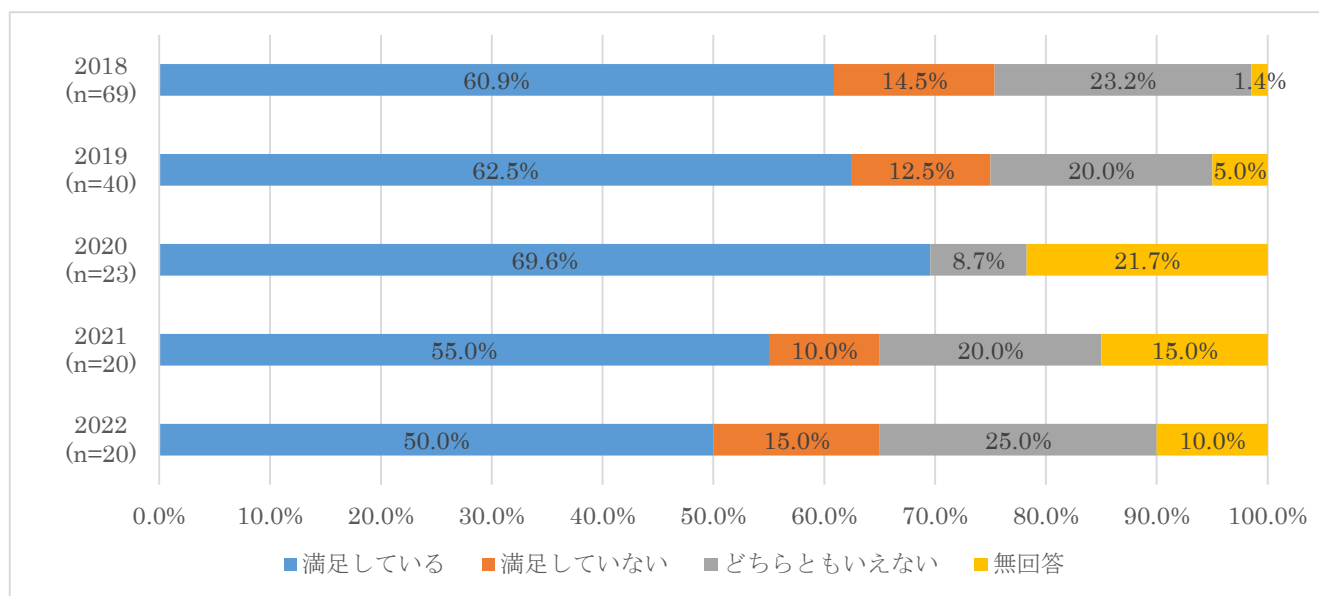


⑤栄養指導件数（入院・外来）



⑥嗜好調査結果

年に1回、経口摂取の患者様全員に記述式でアンケートをお願いして、食事の満足度・味付け・固さ・温度・サービス等を調査する事によって、食事改善に役立てています。

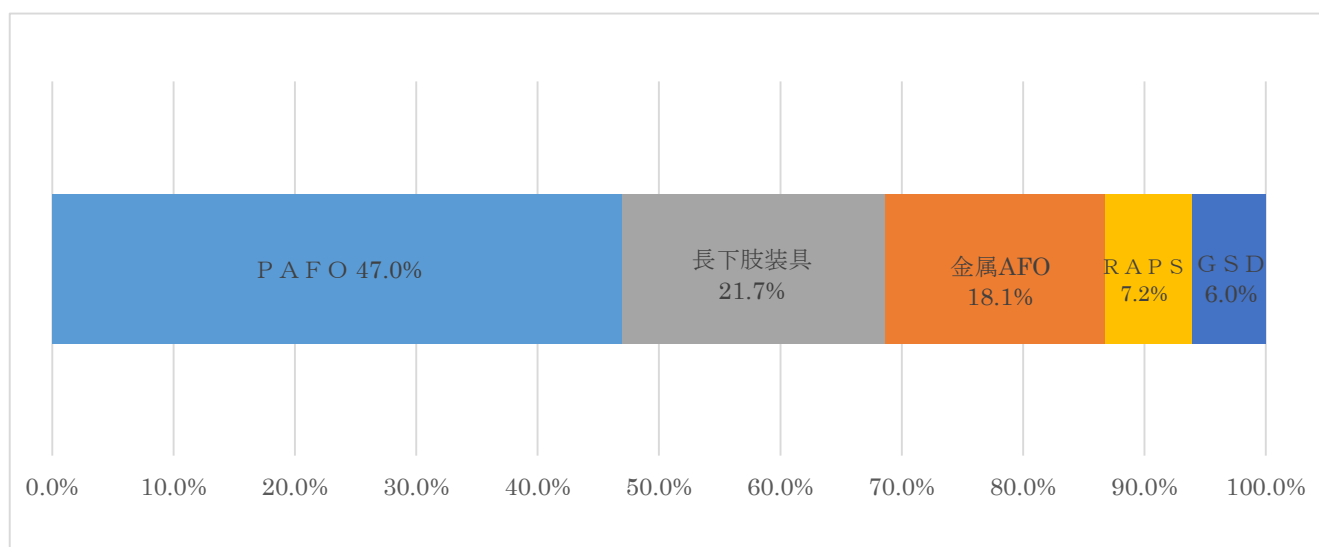


⑦褥瘡の発生率 (n=2405)

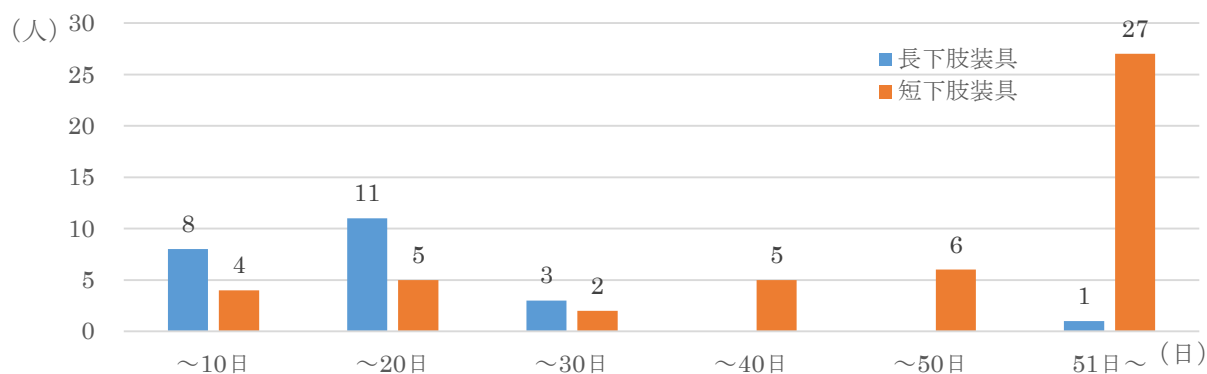
褥瘡発生率・・・0.45% 褥瘡保有率・・・1.50%

褥瘡保有数 36 件（発生数・・・25 件 持込み・・・11 件）

⑧下肢装具：種類別割合 (n = 83)

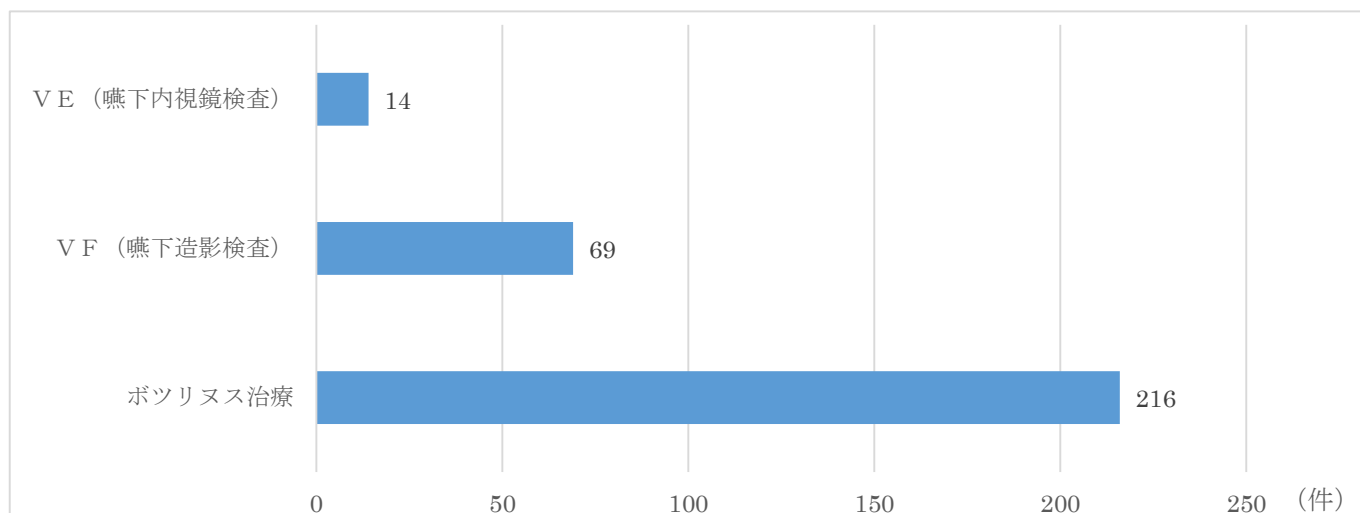


⑨下肢装具：入院から処方日までの期間（n=72）

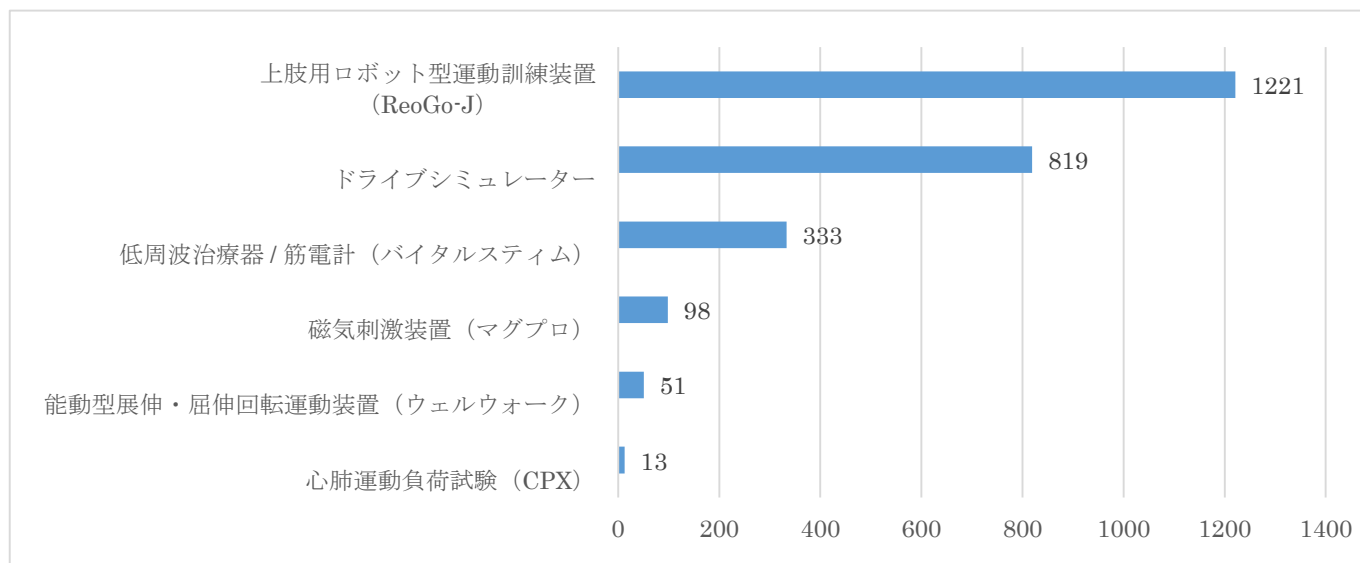


※入院から長下肢装具処方までの平均日数・・・12.17日
 ※入院から短下肢装具処方までの平均日数・・・50.68日

⑩検査・ボツリヌス治療件数（入院・外来総数）

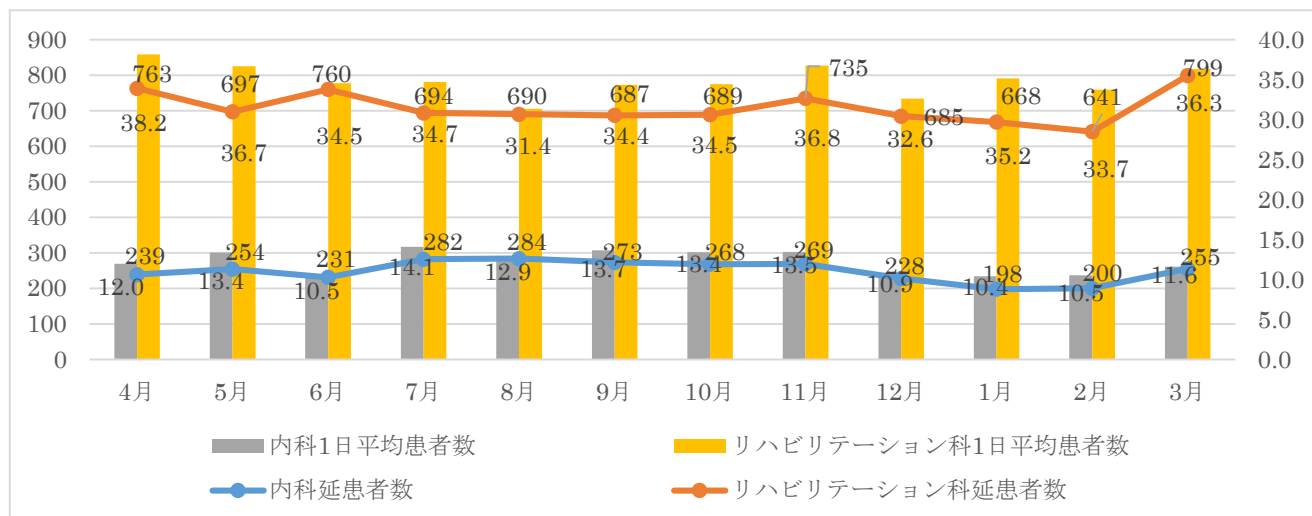


⑫リハビリ機器使用件数

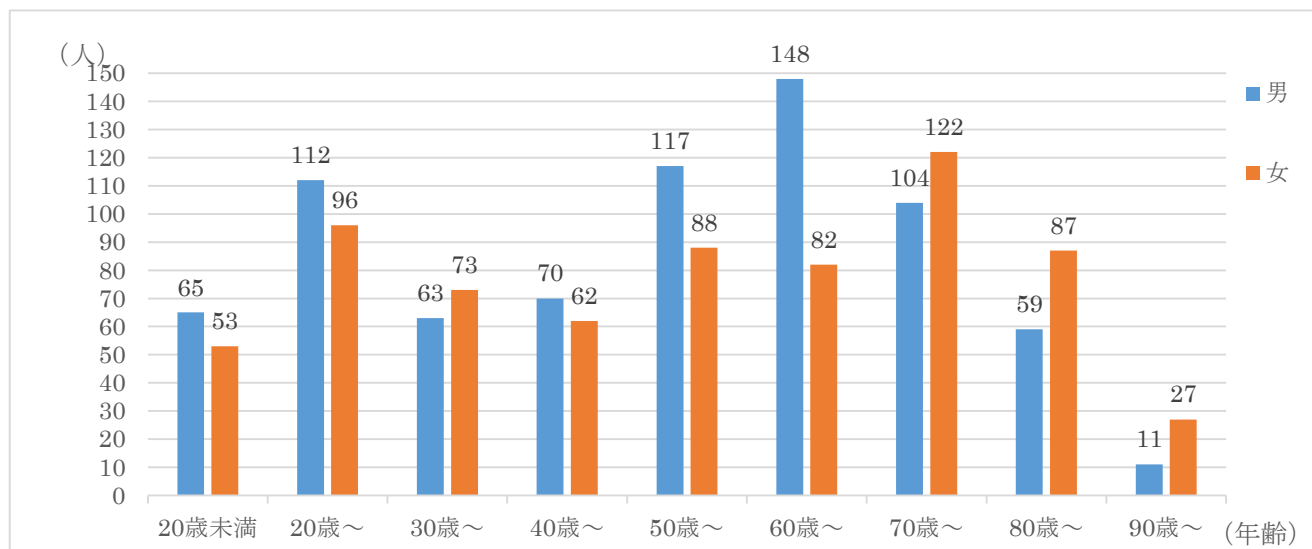


② 外来

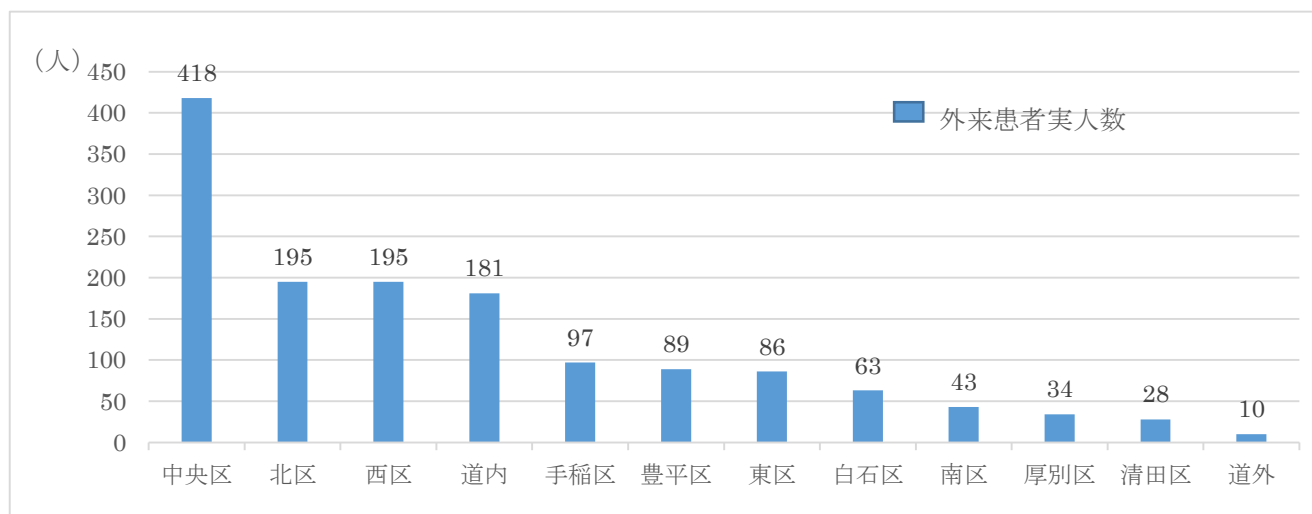
① 件数



② 年齢・性別 (n = 1439)



③ 居住地 (n = 1439)





2023 年 7 月 6 日 発行

住 所 札幌市中央区北 10 条西 17 丁目 36-13

電 話 011-640-7012

F A X 011-640-5083

<https://www.keijinkai.com/keijinkai-reha/>